

NIIGATA
Culture
Tourism

新潟 | 佐渡

NIIGATA
Culture
Tourism



— ニイガタ カルチャー ツーリズム —

豊かさを体感する旅へ。



次の旅はどこへ行くこうと考えていますか？

テーマパーク、ショッピングモール、
名所など、主だった観光スポットだけを
ただ巡るだけじゃない。

これからの旅は訪れた地を
しっかりと歩き、空気を吸って、
そこに暮らす人たちと話をし、
五感でその土地を感じてほしい――。

そんな旅から得られるのは、
熱くこみあげるような感情だったり、
とても静かで穏やかな気持ちだったり、
生まれ故郷に戻ったかのような郷愁だったり。
一人旅でも、大切な人と行く旅でも、
旅先での時間はかけがえないものです。

その場所で見ることのできない
景色や歴史ある建物、人の営み、郷土の食。
思うがままに体で感じる――。
慌ただしい現代を生きる私たちには、
そんな旅も魅力的に感じるのではないのでしょうか。

そこで新潟です。

新潟県は南北に広く接する日本海をはじめ、
壮大な山々、大河といった

豊かな自然の恵みを受けています。

また、縄文時代からつづく

先人たちが築いてきた歴史文化、

各地で育まれてきた地域文化や伝統産業など

ひとつの県の中に多様で特徴的な文化を育んできました。

本誌で紹介するのは新潟市やその周辺の市町村、
そして佐渡の文化に触れる旅。

日本一の米どころ、みなとまち、金属加工産業、
鬼太鼓、佐渡の金銀山――。

各地で育まれた食や伝統芸能など

その土地の文化に触れることで、

心が満たされていくことを実感できると思います。

各地の文化資源の豊かさ、
そしてその文化に触れ、
心が豊かになっていく様を体感すること――。

さまざまな「豊かさを体感する旅」が、

これからの旅に求められるものなのだと思います。

さあ、新潟の文化を体感し、
心豊かにする旅へ。



CONTENTS

- 12 特集1
鬼が棲む不思議の島へ
- 22 佐渡市 文化カタログ
- 26 「佐渡島の金山」を学ぶ旅へ
- 28 佐渡・食のアラカルト
- 30 子どもと楽しい1
新潟弁をマスターしよう
- 32 特集2
みなとまち新潟の海と川が紡ぐ物語
- 42 新潟市 文化カタログ
- 46 新潟エコツーリズムのススメ
- 49 子どもと楽しい2
福島潟で春に出会える仲間たちを紹介
- 50 特集3
豪農が“今”に残してくれたもの
- 58 「伝説が残る地」を訪ねる
- 60 新潟・食のアラカルト
- 62 子どもと楽しい3
マンガ・アニメの拠点施設を訪ねてみよう
- 64 特集4
神が宿る地・弥彦と
ものづくりの町を訪ねて
- 74 五泉市・阿賀町・三条市・燕市・
加茂市・田上町・弥彦村 文化カタログ
- 88 子どもと楽しい4
鉄道のまち・新津を歩く
- 90 イベントカレンダー
- 92 佐渡エリア MAP
- 94 新潟市近郊エリア MAP
- 96 NIIGATA Culture Tourism モデルコース

本誌のマーク表示について

ピクトグラムは紹介している文化財のジャンルを表しています。



食



産業



まつり・イベント



伝統工芸



自然・環境



生活文化



史跡・建造物



芸術・芸能

表紙について

佐渡市・北沢浮遊選鉱場跡
詳細はp.26

◎ Special Movie



本ガイドブックと連動した
スペシャルムービーは
こちらから。



※掲載内容は2022年11月30日現在のものです。
日程、内容、料金などは予告なく変更または中止となる
場合があります。お出かけの前にご確認ください。

※掲載施設、店舗の営業日、営業時間、定休日等は
大型連休、お盆、年末年始には変更される場合があり
ます。お出かけの前にご確認ください。

※一部写真はイメージです。実際の内容とは異なる
場合がございます。

※掲載内容により生じたトラブルや損害等について、発
行元では補償いたしかねますので、予めご了承ください。



About Niigata Prefecture

新潟県について

新潟県は本州の日本海沿岸のほぼ中央部に位置。本土のほかに日本海に浮かぶ離島、佐渡島と粟島がある。本土側の海岸線は331kmと非常に長いのも特徴。面積は12,584km²で全国5位。人口は約217万人で全国15位となっている。

新潟県は地理的な面から上越・中越・下越・佐渡の4地域に区分される。本誌で紹介するのは主に県庁所在地の新潟市とその周辺の下越地域、一部の中越地域、そして新潟市の北西約45kmに位置する佐渡島。

海、山、河川、平野——変化に富んだ広大な面積を持ち、四季ごとに美しく変化を見せる自然に抱かれた新潟県。自然が織りなす絶景、受け継がれてきた文化や芸能、この土地ならではの食。文化を感じる旅の目的地として、非常に魅力的な場所だ。



佐渡島のラピユタ！

幻想的で圧倒的なスケールの

鉱石処理場跡。



北沢浮遊選鉱場跡



鬼太鼓を見て、
胸の内側が熱くなった。
子どもたちの表情も
忘れられない。



芸能を残すことは、
地域を残すこと。
島の人たちが見つないできた
文化に触れて。





佐渡で揚がった
寒ブリのお刺身を頬張ったら
笑顔になってしまった。
心がどんどん満たされていく――。



豪農の館に身を置き、
その歴史の深さを知る。
さらなる旅の道標が見えてきた。





職人たちの確かな技と思いが、
わたしたちの
暮らしの中にあることを
知った。



新潟の郷土料理、わっぱ飯。
その土地ならではの食こそ、
旅の醍醐味！





WONDER
ISLAND
佐渡
SADO

鬼が棲む 不思議の島へ

佐渡には今も鬼が棲んでいる



佐渡島とは？
 日本海に位置し、東京23区の約1.4倍の面積を持つ本州最大の島。人口は約5万1千人ほど。周りを流れる対馬暖流のおかげで、新潟県でありながら冬は意外と暖か。海のほかに、1000メートル級の山、広い平野と自然に恵まれ、ここで育まれる豊かな食も魅力だ。鬼太鼓や能などの伝統芸能、歴史的遺構が数多く残り、国際保護島であり、国の特別天然記念物のトキを日常的に目にできるのも特徴。島内は両津、国中、南佐渡、相川の4エリアに大別できる。運転ができれば、自由のきく車移動がおすすめ。なお、新潟県本土から佐渡島への往復は佐渡汽船の船を使うのが基本。

新潟県本土から佐渡島へ――。

カーフェリーに乗った瞬間から、

心を豊かにする、新しい旅が始まっていく。

島内移動

バスで移動する



新潟交通佐渡が運行する島内のバス路線は14路線。地元の人と一緒にのんびりバスに揺られる旅もよさそう！ 1日、2日間、3日間乗り放題になるバスもあるので、ぜひ利用を

自転車で移動する

レンタサイクル「エコだっチャリ」はシティタイプほか全3種類を用意。島内3カ所で貸し出しを行っている。カーフェリーなら自分の自転車の持ち込みも可能(別途運賃が必要)



車で移動する



佐渡は意外と広い！ なので、自由がきく車での移動がベスト。カーフェリーにマイカーを積んで行くもよし、レンタカーを借りるもよし、タクシーを利用するのもし。人数、行き先等で検討を

新潟県本土から佐渡島へ

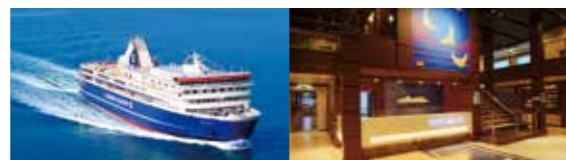
ジェットfoilで旅する



船体を海面に浮上させることで超高速での走行を可能に。新潟～両津間を67分で結ぶ。現在は写真のつばさのほか、すいせい、ぎんがが就航。全席指定

data 料金:新潟～両津 一般大人片道7,460円

カーフェリーで旅する



車両も運搬できる巨大船。現在はときわ丸、おけさ丸が就航。写真のときわ丸は、広いエントランスホールをはじめ高級ホテルのような船内。新潟～両津間を2時間30分で結ぶ

data 料金:新潟～両津 2等大人片道3,370円

※料金は時期により変動。公式サイトで最新情報を確認。
 なお、2023年3月に直江津～小木にカーフェリーが就航予定

佐渡汽船公式サイト >>





齋藤日葵さん(左) Haruki Saito
中川将太さん(右) Shota Nakagawa

10代からシニアまで世代の違う人たちが集まる春日鬼組。鬼太鼓を通じて強い絆が生まれ、家族のような感覚があるという。ふたりとも幼い頃から大人たちが踊る鬼太鼓が大好きだった



齋藤博文さん
Hirofumi Saito

やってみたい人は誰でも受け入れられるというスタンスの春日鬼組を率いる組頭。「鬼太鼓は世界に誇れる佐渡にしかない文化。可能性は無限だと思っています」。鬼太鼓の継承と島外への発信に尽力している

春日神社での春日鬼組による演舞。境内に響く太鼓と提灯持ちの掛け声に呼応するように、躍動感のある舞が披露される。その姿を見ていると熱い感情が湧き上がってくる!



佐渡の 鬼太鼓とは

迫力満点の鬼の演舞 幸せを願う特有の文化

力強く打ち鳴らされる太鼓の音と、提灯持ちの威勢のよい掛け声に合わせ、時には飛ぶように、時には静かなる舞を見せる鬼。これが佐渡の鬼太鼓（おにだいこ・おんでこ）だ。島内に古くから伝わる芸能で、いつ頃から始まったかは定かではない。だが江戸時代に金銀山の隆盛により島外から様々な文化が持ち込まれたことが影響していると言われている。集落ごとに継承されていて鬼の面を付けた鬼役と太鼓の打ち手が基本の様式。しかし、長い継承の過程で踊り方や太鼓のリズム、鬼面や衣装なども多様化。「同じ鬼太鼓は一つとしてない」と言われ、現在でも島内に100を超える団体がある。春から秋にかけて五穀豊穡や家内安全を祈りながら集落のまつりで演舞され、朝一番で集落の神社にて舞を奉納した後に家々を一軒一軒廻り舞を披露する「門付け」を行う。「鬼」と聞くと悪者のイメージだが、佐渡の鬼は地域と暮らしを守るヒーローとされ親しまれている。

両津港から近い春日町で地元の青年会が中心となり、昭和6年から鬼太鼓を始めたのが春日鬼組だ。毎年4月14日が春日神社の春の例大祭。1カ月前くらいから毎日稽古を行い、年に一度のまつりの日に鬼太鼓を奉納している。鬼役を務める若きふたりに聞いた。「面を付けると気持ちが変わる感覚があります。上手に舞ったねと声をかけてもらえると嬉しいです」（齋藤日葵）。「この文化を受け継いで、伝えていかなきゃという責任感が生まれました」（中川将太）。

コロナ禍によりここ2年はまつりが中止に。3年連続の中止は避けたいと組頭を務める齋藤博文さんはメンバーを2班に分けて稽古を行い、まつり当日の門付けも1軒の家を5分以内にすむなどの工夫をして、2022年は2年ぶりに春の例大祭で鬼太鼓が披露された。「まつりは地域のみなさんの幸せを祈る行事ですし、鬼太鼓は幸せをもたらしてくれるものなのです」（齋藤博文）。佐渡の人たちが自らの手で伝え守り、受け継いでいる鬼の舞を、ぜひ一度間近で見たい。



NIIGATA Culture Tourism

本ガイドブックと連携したスペシャルムービー。春日鬼組による春日神社での演舞も収められている。佐渡の文化と魅力を感じながら旅のイメージを膨らませてほしい。





思いを込めた手彫りの面が
佐渡の鬼太鼓を支える

現在も島内に100を超える団体が
あると言われる鬼太鼓。長い歴史のな
かでそれぞれに変化を遂げてきたため
鬼役が付ける面もさまざま。赤や黒、
角があるものとなないもの、口を開けて
いるものと閉じているもの。その違い
を見るのもひとつの楽しみ方だ。島内
で彫刻家として活動する渡邊有恒さん
は、今ではごくわずかとなってしまっ
た面打ち師のひとり。「最初は能面を
作ったのがきっかけ。だから師匠はい
ないんだよ」と笑う。30代後半から独
学で彫るようになったが、次第に技術
の高さが評判となり新穂地区を中心に
多くの団体から注文や修理の依頼が来
るようになった。軽い材質のキリや強
度のあるシナノキの丸太を切り出し、
ノミを使ってすべて手彫りで形作って
いく。「面は目と口元がすべて。どう
彫ったら厳しい目つきになるか、笑っ
ているような口元になるかが大事なん
だ。自分が彫った面を付けた鬼が踊る
のを見る瞬間は何歳になってもうれし
いもんだよ(笑)」と語ってくれた。



鬼太鼓の面打ち師が技をつなぐ

渡邊有恒さん

90歳を超えた今も現役で面を彫り、その技術を若い人たちに継承。制作の合間にアドバイスをしている。さらに面打ちをする人が増え、渡邊さんの技術が広がっていくことを願う



渡邊有恒さん
Aritsune Watanabe

昭和7年生まれ。佐渡市の彫刻家、版画家として数多くの作品を手掛けている。新潟県美術展覧会での受賞歴も多数



1
3
4
5

3・4鬼役の先輩から若い世代への熱い指導。近年鷺崎に移住し、新たに加わったメンバーは「鬼を踊ることで集落の一員になった感覚がありますし、世代を超えて集まれるのが楽しいです」と話してくれた
5鷺崎港を見守るように鎮座する矢崎神社



1内海府小中学校前で門付け。近所の住民や生徒たちが集い、雄姿に拍手を送った 2昼に矢崎神社に戻り最後の「打ち納め」を終えた後は保存会メンバーでの大宴会。メンバーのひとりである漁師が獲ったマハタのお刺身を舌鼓を打ちお酒を酌み交わす。14時に始まった宴は22時過ぎまで続いたそう

佐渡の鬼太鼓を見に行こう

4月～11月にかけて、島内各地域のまつりで鬼太鼓が演舞される。地域にとって大切なおまつりなので、敬意を払いながら見学を。開催日程等は右記から ※一部見学ができないまつりもあり



data
お問い合わせ先
佐渡観光交流機構 tel.0259-27-5000

まつりの現場を訪ねて「鷺崎村まつり」

集落の人たちが笑顔に
活気と絆を感じた秋の日

旧暦の9月9日。2022年は10月4日に行われた鷺崎(わしざき)集落の村まつり。景勝地・二ツ亀に近い島北部に位置する鷺崎集落の住民で構成されているのが鷺崎鬼太鼓保存会だ。まつりの朝は早い。朝6時に集落の矢崎神社にて「打ち出し」と言われる最初の鬼太鼓を奉納。その後、本来であれば一軒一軒の家を門付けして廻るのだが、コロナ禍でのリスクを考慮して、住民たちが集まりやすい広場や学校近くなど数か所を順に廻り鬼太鼓を演舞。子どもから大人まで住民たちが見守るなか、躍動感のある舞が披露された。合間には住民から保存会へのご祝儀や振る舞いと呼ばれる差し入れが次々と渡される。お酒や煮しめ、手作りのサンドイッチなどさまざま。邪気を払ってくれる鬼太鼓と保存会への感謝の気持ちの表れだ。集まった集落の人同士の会話や、ご祝儀のお酒が入り少しずつ陽気になっていく保存会メンバーたちの笑い声が響く賑やかな一日。年に一度のまつりがいかに大切なもので「鬼」が地域のヒーローとして親しまれているかを強く感じることができた。



ながはまそう

長浜荘

旬の魚介を豪快に盛った海鮮丼や定食を味わえる食事処の看板メニューが「海鮮丼(上)」(2,300円)。マグロ、イカ、南蛮エビなど旬の魚介が13~14種類ほど盛りされている。お米は佐渡産コシヒカリ。

data 新潟県佐渡市大須1021-1 tel.0259-55-2511
11:00~13:30 無休 Pあり



しゆくねぎしゅうらく

宿根木集落

江戸中期から明治時代に北前船稼業の集落として発展した入り江の狭い地形に家屋が密集する街並み。国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されており、見学ができる(うち民家3棟は有料公開)。

data 新潟県佐渡市宿根木 見学無料(ただし、1名100円程度の町並み保全費に協力を) Pあり
お問い合わせ先 佐渡観光交流機構 南佐渡観光案内所 tel.0259-86-3200



やじまたいけんこうりゅうかん

矢島体験交流館

佐渡を象徴するたらい舟は、元来狭くて入り組んだ岩礁が多い小木の海岸で海藻やサザエ、アワビなどをとる漁のために考案されたもの。穏やかな入り江に浮かぶ矢島・経島と赤い橋をバックに乗舟体験を。

data 新潟県佐渡市小木365-1 tel.0259-86-2992
9:00~16:00(土日祝は~17:00)
無休(ただし、10月21日、11月~3月は休業) 乗舟料:大人600円、子ども400円 Pあり

魚

海鮮丼に舌鼓
豪快過ぎる

街

ノスタルジックな街並みを歩く

舟

美しい入り江でたらい舟に乗船

岩首昇竜棚田

いわくびしょうりゅうたなだ

海沿いの岩首集落から標高350メートルを超える山間部に広がる棚田。江戸時代に開田が行われ、現在残る田んぼは460枚ほど。独特の地形をいかすように大小の変形田が天に昇る龍のように連なっている。

data 新潟県佐渡市岩首 見学無料(ただし、1名500円程度の保全費に協力を) Pあり
お問い合わせ先 佐渡観光交流機構 tel.0259-27-5000



photo_伊藤ヨシユキ

ぎょうざ&こーひー おにカフェ

餃子&珈琲 おにCafe

両津港そばにある餃子&珈琲 おにCafeで味わえるのが鬼をモチーフにした『おにきん』(1個300円)。佐渡バター、佐渡産米粉などを使用。『こしあん』『佐渡番茶』『甘納豆』の3種類を販売。

data 新潟県佐渡市両津湊110 tel.0259-27-2420
11:00~17:00 不定休 Pあり



ほくせつしゅうぞう

北雪酒造

明治5年の創業時からの伝統的な技法を守りながら常に挑戦を続ける酒蔵。お酒に音楽を聴かせる熟成方法や遠心分離機による抽出が特徴だ。『YK35』『NOBU』などが有名で、国内はもちろん海外に向け佐渡の日本酒を発信している。

data 新潟県佐渡市徳和2377-2 tel.0259-87-3105
店舗販売9:00~16:30
蔵見学無料(ただし、事前に電話にて要予約) 無休 Pあり



棚

海と棚田が生み出す絶景

鬼

強面だけど甘いおやつ

酒

伝統と革新が息づく酒蔵



たたこう館

たたこうかん

佐渡を拠点にしてワールドワイドに活動する太鼓芸能集団「鼓童(こどう)」。その経験と技術をいかした講師の指導のもと、太鼓体験ができる。我を忘れて思いっきり太鼓を叩く時間は実に開放的。樹齢600年のケヤキで作られた巨大な太鼓をドーンと叩こう。

data 新潟県佐渡市小木金田新田150-3 tel.0259-86-2320
9:00~17:00 月曜定休(祝日の場合は翌日)
体験料:大人2,200円、小学生1,100円(要予約)
2023年4月より大人2,500円、小学生1,500円 Pあり

叩

佐渡の山中で太鼓を叩く

島の自然と歴史が作り出した風景に身を置いたり、佐渡ならではの食や体験を楽しんでほしい。

佐渡ならではの文化を感じよう



SADO CITY Culture Tourism ほんまけのうぶたい 07 本間家能舞台



史跡・建造物



佐渡の能の中心的地位を保つ本格的な能舞台 毎年7月最終日曜日には定例能を開催する

佐渡宝生流家元の本間家は、能の普及と庶民化に多大な影響を与えてきた。1885年に再建された瓦葺き寄棟造りの能舞台(県指定有形民俗文化財)には床下に音響効果用の甕(かめ)が埋設されるなど、現存する能舞台では最も本格的な造り。7月最終日曜には定例能を開催。

data 新潟県佐渡市吾湯987 tel.0259-23-2888 (本間家能の会事務局) Pあり

SADO CITY Culture Tourism だいぜんじんじやのうぶたい 05 大膳神社能舞台



史跡・建造物



「佐渡飛鳥」と呼ばれる田園風景の中に佇む 品格漂う能舞台をもつ資朝卿ゆかりの社

地頭・本間山城守によって日野資朝、大膳坊が合祀され、正殿には御食津大神が祀られている。茅葺き寄棟造りの能舞台は1846年に再建された。佐渡に現存する最古の能舞台と言われている。現在も4月18日の祭礼には奉納能、6月には能と驚流狂言が上演される。

data 新潟県佐渡市竹田562-1 tel.0259-55-2953 Pあり

SADO CITY Culture Tourism おとわいけ 03 乙和池



自然・環境



神秘的な雰囲気にもまれた県の天然記念物 日本最大級の高層湿原性浮島に注目

大佐渡山地を縦断する大佐渡スカイラインの途中にある天然池。池の中には日本最大級の高層湿原性浮島があり、アメリカマンネンゴケ、カタマリスギゴケなど20余種の植物が群生。池の主「大蛇」に見初められて入水した美しい娘「おとわ」の伝説が名前の由来となっている。

data 新潟県佐渡市山田1600-2 tel.0259-27-5000 (佐渡観光交流機構) Pあり

SADO CITY Culture Tourism トキのテラス 01 トキのテラス



自然・環境



優雅に舞うトキの姿に出会えるかは運次第 雄大な風景も魅力の野生トキの観察施設

国の特別天然記念物であるトキ。ここでは島内に生息している野生のトキを観察できるほか、トキのはく製や羽根などの展示資料から生態について学ぶことができる。屋上は24時間開放され、いつでも見学可能。雄大な田園風景を一望できる展望スポットとしても人気。

data 新潟県佐渡市新穂 正明寺1277 tel.0259-24-6151 屋内観察室9:00~17:00 (12~3月は~16:00。屋上は24時間開放) 無休 入場無料 Pあり

SADO CITY Culture Tourism さどだいのかんのん しょうわでん 08 佐渡大観音 昭和殿



史跡・建造物



世界一の木造仏と言われる十一面観音菩薩をはじめ、220体余りの仏像が安らな時を刻む

佐渡市中興の一角に安置されている仏像群。その数は220体を超える。本尊である十一面観音菩薩(佐渡大観音)は、佐渡市石名にある清水寺の第24世・山口隆海師の発願により1970年に建立。樹齢2,200年のヒノキ材を用いた一本彫による巨大な像で高さは7メートルを超える。

data 新潟県佐渡市中興字黒藤乙3473 tel.0259-63-4422(花善) 入館料:大人500円、小学生200円(入館は上記へ要事前連絡) Pあり

SADO CITY Culture Tourism たけいくまのじんじや 06 武井熊野神社



史跡・建造物



杉林の中にひっそりと建つ村社 能舞台の古称「加具楽殿」の彫刻も見どころ

1869年に建築された能舞台(県指定有形民俗文化財)は、瓦葺き正面入母屋造り、背面切妻造りの舞台、瓦葺きの橋掛り、拝殿と兼用の鏡の間など佐渡における本格的な能舞台の造りが特徴。また、梁の上部には能舞台の古称である「加具楽殿」の文字がひとつずつ彫られている。

data 新潟県佐渡市新穂 武井329-1 Pあり

SADO CITY Culture Tourism ひらねざきのはしよくおうけつぐん 04 平根崎の波蝕罅穴群



自然・環境



長い年月をかり日本海の荒波が生み出した奇観 国内最大規模の罅穴群は一見の価値あり

佐渡屈指の景勝地「尖閣湾」の北部、平根崎海岸の岩盤斜面約500メートルにわたる無数の円形の穴。海水の渦紋浸食によってできた国内最大規模の罅穴群は国の天然記念物。穴の中に石が入り込み、波によって回転することで硬い岩盤が浸蝕されてきた様子を見ることができる。

data 新潟県佐渡市戸中1465 tel.0259-27-5000 (佐渡観光交流機構) Pあり

SADO CITY Culture Tourism めおといわ 02 夫婦岩



自然・環境



七浦海岸のシンボルとして名高いふたつの岩 周辺の岩礁とともに自然の造形美を觀賞

「古事記」の国生み神話に由来するとされる大きなふたつの岩。海に向かって右が夫の岩で高さ22.6メートル、左側が妻の岩で高さが23.1メートル。七浦海岸の波を受け、寄り添うように立っている。昼間は周囲の岩礁と織りなす風景が美しく、夕刻には沈む夕日に照らされた影が浮かび上がる。

data 新潟県佐渡市高瀬 tel.0259-27-5000 (佐渡観光交流機構) Pあり

SADO CITY Culture Tourism 14 佐渡歴史伝説館



順徳天皇、日蓮聖人、世阿弥に会える！
800年前にタイムスリップできる体感型施設

佐 渡にゆかりのある歴史上の人物や伝説を等身大ロボット人形がリアルに再現している。順徳上皇の配所の月、日蓮聖人の塚原問答、世阿弥の雨乞いの舞など有名なシーンを見ることができる。また、佐渡生まれの蠟型鍍金作家で人間国宝の佐々木象堂の作品も展示されている。

data
新潟県佐渡市真野655
tel.0259-55-2525
9:00~16:30
無休
入館料:大人900円、
小学生500円
Pあり

SADO CITY Culture Tourism 12 薪能



夏の夜、幻想的な空間の中で鑑賞を楽しみたい
能舞台の周囲にかかり火を焚いて上演される

佐 渡で能が広まったのは江戸時代。初代佐渡奉行として名高い大久保長安が能楽師集団を連れ来島したのが始まりとされる。奉行所が武士のたしなみとして能を奨励し、地元の有力者も能文化に触れるようになった。神社に併設された能舞台が多く、夏の夜に演じられることが多い。

data
問:佐渡観光交流機構
tel.0259-27-5000

SADO CITY Culture Tourism 10 妙宣寺



中世が香る日蓮ゆかりの名刹
新潟県内に現存する唯一の五重塔は必見

日 蓮の弟子である阿仏房日得が妻の千日尼とともに自宅を寺として開基したのが始まりと伝わる。かつては佐渡守護代竹田本間氏の居城で、今もどこも城跡の雰囲気を残している。境内の五重塔は相川の長坂茂三右衛門と金蔵の親子二代を棟梁として、1825年に建立された。

data
新潟県佐渡市阿仏坊29
tel.0259-55-2061
Pあり

SADO CITY Culture Tourism 09 長谷寺 五智堂



全国的にも数少ない貴重な多宝塔を有する
牡丹や紫陽花など、季節の花も観賞を

大 和の「長谷寺」を模した古刹で、807年に弘法大師により開基。牡丹をはじめとした「花の寺」としても有名だ。本尊の十一面観音は古くから人々の信仰を集めている。1687年建立の多宝塔は五智堂(ごちどう)と呼ばれ、弥陀、釈迦、大日、薬師、宝生の五智仏を安置する。

data
新潟県佐渡市長谷13
tel.0259-66-2052
Pあり

SADO CITY Culture Tourism 15 太鼓芸能集団 鼓童



心臓に響き渡る太鼓の音は佐渡文化の象徴
一度は目にしてほしい圧巻の太鼓パフォーマンス

国内外で活動を展開するプロの太鼓集団。1981年に設立され、30名を超える舞台メンバーで構成されている。さまざまな太鼓を一心不乱に叩き、笛や三味線、踊りを交えたステージングは言葉を失うほど感動的。毎年8月には佐渡で国際芸術祭『アース・セレブレーション』を開催する。

data
問:鼓童村
tel.0259-86-3630

SADO CITY Culture Tourism 13 無名異焼陶芸体験



佐渡特有の土を使った陶芸を体験しよう
使い込むほどに光沢が増す無名異焼

佐 渡金銀山周辺から採れる赤褐色の無名異(むみょうい)と言われる土を主原料とした陶器が無名異焼。江戸時代後期・天保の頃から続く佐渡独自の焼き物。相川技能伝承展示館では、すぐそばにある北沢窯の陶芸家の指導のもと、ろくろや手びねりで無名異焼の体験ができる。

data
新潟県佐渡市相川北沢町2
tel.0259-74-4313
(相川技能伝承展示館)
無休
体験料1,530円~
(要事前予約)
Pあり

SADO CITY Culture Tourism 11 文弥人形



大衆娯楽として島民に広く親しまれる人形芝居
各地のまつりや芸能行事で見ることができる

佐 渡の人形芝居のひとつで国の重要無形民俗文化財。ひとりか二人の人形を操り、哀調を帯びた文弥節に合わせて動かし細やかな感情を表現する。江戸時代には盲人の芸として行われたが、1870年に文弥語り伊藤常盤一と説経人形使いの大崎屋松之助により芝居として始められた。

data
問:佐渡観光交流機構
tel.0259-27-5000

FOCUS

川野名孝雄さん
●文弥人形 真明座座長

1970年頃の真明座の旗揚げから座長を務める佐渡を代表する人形使い。伝承と後継者育成に力を注ぐ



「幼い頃から文弥節の使い手として有名だった父親の影響から文弥人形をやるようになりました。最初は語りをやりましたが、うまくできなかったことから、人形使いをやるようになったのです。1977年に国の重要無形民俗文化財に指定された時はとてもうれしく、感激したことを覚えています。自分が演じる人形に感情移入できるのが何よりの醍醐味です。後継者の育成を第一に考えながら、佐渡の大切な文化である文弥人形を未来に残していきたいです」

佐渡島の金山を 学ぶ旅へ

金銀山の歴史を学べるスポット

01 きらりうむ佐渡

佐渡金銀山について知るための玄関口となる施設。中・近世から現代に繋がる採掘の歴史を紹介する展示のほか、金銀生産の様子をプロジェクションマッピングや大型スクリーンに映し出される映像で分かりやすく解説。



きらりうむさど

data 新潟県佐渡市相川三町目浜町18-1 tel.0259-74-2215
8:30~17:00(展示室最終受付は16:30) 無休
入館料:大人300円、小中学生150円 Pあり

02 北沢浮遊選鉱場跡

採掘された鉱石を細かく砕き、浮遊選鉱という技術で金銀を取り出していた。月に5万トンの鉱石を処理していたことから、かつて「東洋一」と言われていた近代鉱山の象徴的施設跡だ。巨大なスケールに圧倒されるはず。



きたざわふゆうせんこうばあと

data 新潟県佐渡市相川北沢町3-2 tel.0259-67-7602(佐渡市観光振興課)
Pあり

03 史跡 佐渡金山

江戸から平成までの388年間で金78トン、銀2,330トンを生産した金銀山の歴史や採掘方法を学べる。江戸時代に開発された手掘り坑道を歩くコースや、佐渡金銀山の象徴「道遊の割戸」を間近に見られるコースを用意。



しせきさどきんざん

data 新潟県佐渡市下相川1305 tel.0259-74-2389
8:00~17:30(4~10月)/8:30~17:00(11~3月) 無休 入館料:大人900円~、
小中学生450円~(2023年4月より大人1,000円~、小中学生500円~) Pあり

04 大間港跡

金銀山から採掘した鉱石や石炭などを搬出入するために、明治時代中期に作られた港。伝統的な左官技術「たたき工法」による護岸や、トラス橋、ローダー橋と呼ばれる橋梁、クレーン台座などが当時の姿のまま残されている。



おおまこうあと

data 大間港 新潟県佐渡市相川柴町16 Pあり

05 史跡 佐渡奉行所跡

金銀鉱脈が発見されたことにより徳川幕府の直轄地となり、佐渡奉行所が置かれた。「役所」や「白洲」などの行政・司法の場に加え、金銀を精製する「寄勝場(工場)」の機能を併せ持つ、佐渡特有の奉行所を忠実に復元している。



しせきさどぎょうしよあと

data 新潟県佐渡市相川広間町1-1 tel.0259-74-2201
8:30~17:00 無休 入館料:大人500円、小中学生200円 Pあり

06 西三川ゴールドパーク

かつて多くの砂金が採掘され、繁栄をもたらした西三川砂金山の歴史や採掘方法を紹介する施設。砂金採り体験ができ、大人から子どもまで気軽に参加できる。有料で採れた砂金をストラップやペンダントに加工もできる。



にしみかわゴールドパーク

data 新潟県佐渡市西三川835-1 tel.0259-58-2021
8:30~17:30 無休 体験料:大人1,000円、小学生900円、幼児500円 Pあり



金銀山はどこにあるの？

佐渡には55の鉱山があったとされるが、なかでも歴史的に重要とされるのが図の3ヵ所。世界文化遺産候補「佐渡島(さど)の金山」は、鶴子と相川を合わせた相川鶴子金銀山と西三川砂金山で構成される。

佐渡金銀山の象徴である「道遊の割戸」(どうゆうのわりと)。山が2つに割れているように見えるのは、江戸時代の露頭掘り跡。巨大な金鉱脈を掘り進むうちに、このような姿になった。山頂部の割れ目は幅約30m、深さ約74mにも達する。

「佐渡島(さど)の金山」の名称で世界文化遺産の登録を目指している佐渡金銀山。戦国時代末から江戸時代にかけて続いた伝統的な手工業による金生産の歴史を辿りながら旅をすることで、その偉大なる価値を体感することができる。

豊富な金銀産出量で徳川幕府の財政を支えた

日本の歴史に佐渡金銀山が初めて記されたのは、平安時代の説話集「今昔物語集」。古くから「金の島」として知られていた佐渡で、本格的に採掘が始まったのは戦国時代末。世界有数の産出量を誇った江戸時代初期には佐渡奉行所が置かれ、徳川幕府の直轄地として繁栄を遂げた。海外との技術交流が限られる中、伝統的な手工業による長きにわたる先人たちの営み、鉱山技術や生産システムの変遷のほぼすべてを見ることが出来る世界でも例のない大変貴重な遺産。2010年にはユネスコ世界遺産暫定リストに記載された。そして2022年2月に日本政府が世界文化遺産への推薦を決定した。登録へ向け、国内外から大きな注目が集まっている。

寒ブリ

生産者

両津湾は北海道沖から南下してくるブリの通り道。水深60〜80mの深い海に大型の定置網を仕掛け、寒ブリ漁を行う。「ひと晩で億単位の稼ぎになることもあり、それが数日間続く時は、みんな笑顔になります。もちろん、その逆もあるから苦労も多いですが、佐渡のブリのうまさ是全国に届けるために全力でやっています」。単に魚を獲

るだけでなく、鮮度を保つ神経を取り入れるなどして、寒ブリの付加価値を高める取り組みも行っている。「豊洲市場でも評価されるようになってきましたし、さらに多くの方に食べてもらえるよう頑張りたいです。一方で、水温の上昇で魚種や魚の獲れる時期に変化が出ているのも事実。豊かな海を守ることも我々の使命です」。



うまさを伝えながら付加価値を高めていく

多田好正さん
Yoshimasa Tada

内海府漁業生産組合組合長理事、佐渡寒ブリ販売促進協議会会長として尽力。佐渡寒ブリが「味わえる和食店、四季彩 味よしのオーナー」でもある。



若林直樹さん
Naoki Wakabayashi

羽茂農業振興公社事務局長。おけさ柿のスペシャリストとして栽培を手掛けるほか、就農希望者に基本的栽培方法や農業機械などの研修を行う。

惜しまずに手を入れることでおいしい柿が実る

おけさ柿

生産者

とろけるような食感とやさしい甘さの果汁。おけさ柿は佐渡の秋を代表する果物だ。「真冬に行う枝の剪定や土作りから始まり、春から夏にかけてつぼみを間引く摘蕾（てきらい）、実を間引く摘果（てきか）の作業を経て秋に実ります。柿の実にまんべんなく日光が当たるように手を入れてあげることが、おいしい柿を育てるための秘訣です」。

生食や干柿が一般的だが冷凍保存して夏に食べたり、味噌漬けにしてお酒のつまみにしたりするのは産地ならではの「柿が赤くなると医者が青くなる」と言われるほど栄養価が高く、健康志向が高まる現代は、さらなる消費拡大の可能性を感じています。日本人にとって郷愁を伴う果物である柿の魅力を伝え、若い生産者を増やしていきたいです」。



寒ブリ

佐渡では冬の到来を告げる雷「雪起こし」のことを「ブリ起こし」と呼び、それを合図に寒ブリ漁が始まる。身が締まり脂がのっているため、刺身で食べれば弾力のある食感と、とろけるような脂のうまみを感じられる。大型定置網漁や竿で釣る一本釣り漁師たちが水揚げする、1尾が8キロ以上のものが佐渡の寒ブリの称号で県内外に出荷される。



いごねり

いご草（えご草）と呼ばれる海藻を煮込み、冷やし固めて作る。低カロリーで繊維が豊富だ。さっぱりとした口当たりと磯の香りが楽しめる佐渡の代表的な郷土料理で、もともとは各家庭で作られ冠婚葬祭などの場で食べられてきた。島内の和食店やホテルなどでも味わうことができるほか、スーパー等でおみやげとして購入することができる。

Sado Local Foods

佐渡・食のアラカルト

新鮮な魚介は佐渡の食の象徴といえる。

また、島内では米やそばが作られているほか、フルーツの島としても有名。柿をはじめ、ミカン、リンゴ、黒イチジクなどが栽培されている。島ならではの豊かな食を味わってほしい。



そば

島内ではそばの栽培が行われていて、佐渡産のそばを提供するお店も点在している。トビウオ節で取ったアゴダシで、冷たいつゆのぶっかけが特徴となっている。毎年11月下旬頃には佐渡産そばや煮しめなどの郷土料理を食べながら、伝統芸能をたっぷり堪能できるイベント「大崎そばの会」が開催され、島内外から多くの観光客で賑わう。



おけさ柿

おけさ柿は佐渡のJA羽茂が販売するブランド柿の名称。新潟県産の刀根早生（とねわせ）と平核無（ひらたねなし）の2品種があり、おけさ柿という名前は佐渡の民謡・佐渡おけさがルーツになっている。別名で八珍柿（はっちゃんかき）とも呼ばれ、新潟市秋葉区に原木がある。食べやすく、口の中にとろけるような食感とまろやかな甘みの特徴だ。

Local Language

表現力豊かで美しい! 新潟弁をマスターしよう

広い新潟県だから、新潟弁は地域によって使い方も様々。多彩でユニークな新潟弁の魅力を、ラジオを通じて発信している、BSN新潟放送の近藤丈靖さんに聞いた。

新潟弁の特徴 1

とっさに出る言葉は新潟弁?

比較的標準語に近い言葉で話すことが多い新潟人でも、とっさに出る言葉というのは反射的に出るので、新潟弁になることが多いようです。

新潟弁の特徴 2

地域によって言い方が異なる

同じ新潟県でも「あなた」の言い方が地域で異なってきます。相手呼んでいるのに「自分、どんげなん?」「あなたはどのなの?」って、紛らわしいですね。

ありい〜がと

(ありがとう)



さあ〜め
(寒い)

じよお〜ざら
(上手だ)

新潟弁の特徴 3

単語の真ん中をのぼす

標準語では「ありがとうー!」と語尾をのぼして感情表現しますが、新潟弁では真ん中をのぼせばのぼすほど気持ちが伝わります。新潟弁の最大の特徴ですね。

つかあ〜れた
(疲れた)

飴がなく

(飴の表面が溶けている)



いとしげら
(かわいい)

新潟弁の特徴 4

エモい。情緒的で美しい

飴がべとべとした状態を「飴がなく」とか、「久しぶり」を「遙か」と表現するとか。実にエモくて、美しいですね。

はるかだねえ
(久しぶりだね)

えろいんぴつ

(色えんぴつ)



えち〜い
(ごめい)

新潟弁の特徴 5

「え」と「い」がはっきりしない

特にお年寄りの方に多いのですが「え」と「い」の発音がはっきりしない傾向があります。むしろ逆に聞こえることも多いようです。

エアロビクス

(エアロビクス)

エンフルインザ

(インフルエンザ)

しゃべっちょこき

(おしゃべり)



よっぱらだ

(飽きた)

しよつたれ
(だらしない)

新潟弁の特徴 6

皮肉や不満を表現する言葉が多い

ちょっと皮肉っぽい言葉、現状を嘆くような言葉などに新潟弁が多く残っているようです。包み隠さない気持ちというのは方言として残りやすいのかもしれないですね。

のめしこき
(怠け者)

しょうしがって
しゃべらねと
新潟弁のおなっぞ!

恥ずかしがって喋らないと
新潟弁が無くなってしまっよ



近藤丈靖さん
Takeyasu Kondo

BSN新潟放送アナウンサー。毎週月～木曜朝放送のラジオ『近藤丈靖の独占!ごきげんアワー』は16年目。「新潟弁アワー」が大人気コーナー

「新潟弁は、発音に感情がこもっています」

自身がパーソナリティを務める『近藤丈靖の独占!ごきげんアワー』で、様々な笑える手法で新潟弁の啓蒙活動を行っている近藤さん。「大学で語学を学んでいたことで、新潟弁を語学講座的にやってみたらおもしろいかなと思って新潟弁講座をスタートしたのですが、思いのほかウケまして(笑)。15年以上続いています」。近藤さんが思う新潟弁の大きな特徴は、そのイントネーションだ。「あり

〜がと。つかあ〜れた。みたいに独特なイントネーションがあって、その発音にとっても感情がこもっています。これってなかなか活字で表現できない。だから音声で残せるラジオは有効なんですよ」。その一方で新潟弁絶滅の危機感も持っているとか。「新潟の県民性なのか、恥ずかしがって新潟弁を使わない人も多い。『しょうしがって』のおなっぞ!」って強く言いたいですね。」

ひやっけ

(冷たい)

あつちえ
(熱い・暑い)

やあせ
(安い)

たあけ
(高い)

自分

おめさん

な

おまん

※すべて「あなた」という意味です

みなとまち新潟の
海と川が紡ぐ
物語

港とともに発展した
おもてなし文化を体感する

きゆうにいがたぜいかんちようしゃ
旧新潟税関庁舎

明治2年に、関税業務を行う役所として造られた新潟運上所(後の新潟税関)。当時、横浜や江戸に建てられ始めた洋風建築を参考に新潟の大工が建築。以後昭和41年までの約100年間使用される。開港5港当時の税関として現存する唯一の建物。国指定重要文化財。

data
新潟県新潟市中央区柳島町2-10
入館料:無料
9:30~18:00(10月~3月は17:00まで)
月曜定休(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土日の場合は火曜)
Pあり
お問い合わせ先
新潟市歴史博物館 みなとびあ
tel.025-225-6111

外国と貿易を行う
日本海側の港

新潟港は河口にある港のため、川が運んできた土砂が堆積し、港内の環境がしばしば変化化する厄介な港だった。時代によっては水深が1メートルに満たない場所もあったという。そのため、船が安全に河口に入るために水先案内人による誘導が不可欠。この係を新潟では水戸教と呼んだ。

新潟港の繁栄が始まるのは江戸時代に入ってから。「西廻り航路が開発され、当時日本経済の中心地であった大坂などと結ばれたことは大きく影響しています」と坂井館長は話す。新潟からは内陸の村々で作られた大量の米が積み出され、大坂や瀬戸内の木綿や塩、山陰の鉄などの特産物が新潟港に集まった。さらに蝦夷地(北海道)とも行き来するよう大型の北前船の航行が活発になると、より一層流通経済が発展していく。蝦夷地からは昆布やニシンなどの海産物、出羽や最上からは紅花などが新たに新潟港に集まり、内陸に運ばれ人々の暮らしを支えていく。こうして新潟港は経済の拠点として益々繁栄していく。それに伴い、新潟古町も旅の商人などをもてなす場所として大いに賑わうことになる。

新潟港にとって大きな転機になったのは、明治元年の開港だ。1858年に日米修好通商条約が結ばれ、横浜、函館、長崎、神戸と並び、日本海側の唯一外国と貿易を行う港となる。「その前段として、長岡藩が新潟町を統治できないことを理由に幕府によって管轄される幕府領になったことが後に大きく影響するんです」と坂井館長。「他にも候補の港はあったんですが、最終的に幕府領でない港は開港場にはできないと、新潟港が選ばれることになるんです」。その際、佐渡・両津港をサブ港とすることが条件となる。

明治3年には横浜や神戸がそうであるように、開港場という理由で県庁が置かれる。こうして新潟市は経済だけではなく、政治・行政的にも新潟県を中心となっていく。



みときょうこうえん
水戸教公園

水戸教とは、水先案内や海難救助をする人たち。長年にわたって新潟港の安全を守ってきたその功績を讃え、西港を見渡せる小山に、市民の憩いの場所として公園が作られた。

data
新潟県新潟市中央区雲雀町5-7



ことひらじんじや
金刀比羅神社

廻船の模型28点が拜殿に収められている神社。当時の船問屋や船主たちが航海の安全を祈願して奉納したもので、国の重要有形民俗文化財。観覧希望の方は事前に連絡を。

data
新潟県新潟市中央区西臈島2338-1
tel.025-223-3573



みなといなりじんじや
湊稻荷神社

高麗犬を廻して願掛けをする「願懸け高麗犬」があることで知られている。昔、花街の女性たちが港から船乗りが出て行かないよう、高麗犬の向きを変え、荒天祈願をしたとされる。

data
新潟県新潟市中央区稲荷町3482
tel.025-222-6549



新潟市歴史博物館みなとぴあ 館長
坂井秀弥さん

Hideya Sakai
考古学者、学術博士、奈良大学名誉教授。新潟県教育委員会、文化庁、奈良大学文化財学科教授を経て、2022年より館長を務める。1955年新潟市沼垂生まれ。

新潟港
発展の歴史を
体感する



にいがたしきしほくぶつかん みなとぴあ
新潟市歴史博物館 みなとぴあ

旧新潟税関庁舎の敷地内にある歴史博物館。明治44年建築の2代目新潟市庁舎の外観をもとにデザイン。博物館の「郷土の水と人のあゆみ」をテーマにした展示と、明治・昭和初期の歴史的建造物とともに、情緒豊かな港町・水の都にいかれた歴史と文化が満喫できる。

data 新潟県新潟市中央区柳島町2-10
入館料:大人300円、高校・大学生200円、小中学生100円(土日祝は無料)※企画展は別途
9:30~18:00(10月~3月は17:00まで)
月曜定休(祝日の場合は翌日)、
祝日の翌日(土日の場合は火曜) Pあり
お問い合わせ先
新潟市歴史博物館 みなとぴあ
tel.025-225-6111

1 同敷地内に、昭和2年に建てられた旧第四銀行住吉町支店(国登録有形文化財)を移築・復元。旧新潟税関庁舎、新潟市歴史博物館みなとぴあが向かいあうように建っている 2 柳都の雰囲気と堀も再現

1
2



「旧小澤家住宅」

photo_中村 修

新潟町における町家の典型的な姿

江戸時代後期から活躍した豪商、小澤家の店舗兼住居。こちらは、かつての新潟町における典型的な町家のひとつであり、明治時代に成長した豪商の屋敷構えを構成する一連の施設がほぼそのまま残されている。表通りに沿って続く板塀と、そこからのぞく見越しの松は、みなとまちの風情をどめる景観を形成している。また、各地から庭園材料を集めた豪華な庭園も、豪商の暮らしぶりを今に伝えている。

data 新潟県新潟市中央区
上大川前通12番町2733
入館料:大人200円、
小中学生100円(土日祝は無料)
9:30~17:00
月曜定休(祝日の場合は翌日)、
祝日の翌日(土日の場合は火曜)
Pあり
お問い合わせ先
旧小澤家住宅
tel.025-222-0300



photo_中村 修



photo_中村 修



photo_中村 修

- 4
- 1 全国から庭園材料を集めて造られた和風庭園
 - 2 一体となっている建物と庭園
 - 3 せがれ造り、窓付き雨戸、張り出し二階といった新潟の町家らしい姿を残している
 - 4 当時の活気が伝わってくるような通り土間



近代和風建築の特徴が随所に

明治後期に新潟市東堀通7番町に建てられた齋藤喜一郎の邸宅の一部を、平成9年に白山公園内に移築再建したもの。燕喜館の名称は「宴を催し、楽しみ喜ぶ」という意味から齋藤家が命名していたものを引き継いだ。当時の間取りや意匠を活かした前座敷、奥座敷、居室などに加え、露地庭と一体になった本格茶室も設けられた。長さ約18メートルにも及ぶ一本ものの桁や欄間の細工などに風格を感じる。

data 新潟県新潟市中央区一番堀通町一番地2 白山公園内
入館料:無料 9:00~17:00
第1・3月曜定休(祝日の場合は翌日)
Pあり
お問い合わせ先 燕喜館 tel.025-224-6081

「燕喜館」

えんきかん

- 3
- 2 1 厚い檜の床下の廊下と那智黒石を敷き詰めた土間で構成される土縁。軒を支える約18メートルの杉の桁も見事
 - 2 3つの間からなる40畳の奥座敷。開放的ながらも格調の高い空間となっている
 - 3 土縁から続く庭は、手前に重厚感のある石庭を置き、主庭、白山公園と視界が広がる



「旧齋藤家別邸」

こむらたけけん

砂丘地形を巧みに利用した回遊式庭園

明治から昭和初期にかけて、新潟の三大財閥に数えられた豪商、四代・齋藤喜一郎が、大正時代に建てた別荘。砂丘地形を利用し、都会でありながら深山幽谷の趣を仕立て、周辺には見られない滝や沢流れ、池泉といった水辺空間を作り上げた回遊式庭園。庭園と建物を一体とらえる趣向で造られた開放的な建築は、随所にさりげなく銘木、名石を使うなど巧みな演出がなされている。

北前船によって大いに繁栄した新潟港。明治時代に入り、電信や鉄道の發達で北前船の役割が終わろうとする頃、それまでの新潟経済の礎を作り、明治時代以降の新潟の経済を牽引した豪商たち。当時の繁栄を垣間見ることが出来る屋敷跡などが今も新潟市内には残っている。

1 まるで絵画を見ているような主屋2階からの景色 2 砂丘の傾斜を利用して造られた見事な回遊式庭園を散策するのも趣深い

新潟の経済を牽引した豪商の館を訪ねて

data 新潟県新潟市中央区西大畑町576
入館料:300円、小中学生100円
9:30~18:00(10月~3月は17:00まで)
月曜定休(祝日の場合は翌日)、
祝日の翌日(土日の場合は火曜)
Pあり
お問い合わせ先
旧齋藤家別邸
tel.025-210-8350



新潟を代表する伝統文化

質の高い唄や踊り、三味線、鳴り物の芸で新潟古町の名を高めてきた古町芸妓。昭和初期の最盛期には300人以上が活躍したが、社会の移り変わりの中で人数は激減。その伝統が立ち消えようとしていた1987年(昭和62年)、地元有力企業が出資し、全国初の株式会社組織の芸妓養成会社が発立され、今に至る。

data お問い合わせ先 柳都振興 tel.025-222-7080



ふるまちなりゅうとかふえ

古町柳都カフェ

歴史あるお茶屋の一部をカフェとしてオープン。古町芸妓と気軽に触れ合える。

data 新潟県新潟市古町通9-1462(旧美や古)
古町柳都カフェ 月曜から金曜オープン 13:00~15:00
古町芸妓の舞 鑑賞タイム
毎週土曜日 13:00~(20分程度) 1,000円(要予約)
お問い合わせ先
新潟三業協同組合 tel.025-222-2237

「新潟古町芸妓」

日本屈指の芸妓の舞

歴史ある料亭の佇まい

多彩な模様の漆器

日々鍛錬している
踊りや唄は必見

商人や旅人が集まる処には接待する場所も増えるもの。湊町として賑わい、多くの人たちが交流した新潟にも、いつしか花街が生まれていく。風情あふれる料亭が軒を連ね、日本一の米や日本酒、四季折々の新潟の料理が用意され、芸妓たちの見事な唄や踊りが披露された。当時の船乗りの日記の中に、「早く新潟に行きたいなあ」という記述があったという。

古町芸妓について詳しい、旧齋藤家別邸の学芸員で、古町花街の会の事務局長を務める久保有朋さんに伺った。「江戸時代後期の頃には、まだ芸妓と遊女に明確な区別がなく、古町通りのほぼ全域に貸座敷が立ち並び、賑わいをみせていました。明治の中頃から政府の指導によって遊郭統合の動きが始まり、新潟県でも芸妓と遊女の働く場所が分離され、次第に区別がはっきりとしていくんです」

芸妓は芸があつてこそ。現在、踊りは日本舞踊「市山流」の家元から直接指導を受けている。家元が地方都市にお住まいなのは全国でも珍しいこと。唄や三味線、鼓などは東京音楽大学より講師を招いている。お師匠さんや講師、先輩のお姐さん等に支えられながら日々芸を磨いているのだ。その甲斐あつて、全国でもレベルが高いと評判だ。「芸妓たちの唄や踊りは、お座敷ではもちろんですが、いろんなイベントに引っぱりだこなので、一年中見られる機会が多いんです。中でも毎年9月に行われる新潟古町芸妓総出演の『ふるまち新潟をどり』は彼女たちの晴れ舞台、必見です」と久保さん。

古町には今も戦前の歴史的建造物や町並みが多く残っている。花街が賑やかだった頃を想いながら古町を散策してみると、ひよっとしたら芸妓たちに会えるかもしれない。



旧齋藤家別邸学芸員 兼
古町花街の会事務局長

久保有朋さん Aritomo Kubo

旧齋藤家別邸の学芸員として働く傍ら、まちづくり組織「古町花街の会」の事務局長として、日々、花街の伝統文化の継承、歴史的町並みの保全活動に取り組む。花街を全国的かつ分野横断的に研究する研究会「花街空間研究会」にも参加



たくさんの漆塗りの技術も 伝えられた

はじまりは約400年前の江戸初期。主に座卓やお膳、お盆などの日用品を中心につくられていた。江戸末期には江戸や大坂、北海道と販路を拡大し、日本有数の漆器産地となる。多彩な模様の変塗(かわりぬり)の宝庫と呼ばれ、数多くの漆塗り技法が受け継がれている。

data
お問い合わせ先
新潟漆器製造
tel.0256-77-5450

「新潟漆器」



江戸時代創業の 新潟最古の料亭

飲食店が多く集まる古町エリアから少し離れた閑静な場所にあり、砂丘を利用した南斜面に広がる2,000坪を超える広大な敷地に、13室の離れ座敷が並んでいる。それぞれ趣の違う建築で、10棟が国登録有形文化財。白壁通り沿いの土蔵には、行形亭のシンボルである鶴がこて絵により描かれている。

data
新潟県新潟市西大畑町573
tel.025-223-1188

料亭「行形亭」



みねむらしょうてん 峰村商店

味噌の可能性を発信し続ける味噌蔵

1905年(明治38年)創業の味噌蔵。港を往来する北前船で運ばれてきた大豆や塩を使って味噌造りが始まった。「新潟の冬は寒いので雑菌が少なく、夏は気温が高いため発酵がすすみます。沼垂は流通もよく、気候も適していたんですね」と小林さん。半煮半蒸の製法で大豆のうまみを引き出した、自慢の味噌をご賞味あれ。

data
新潟県新潟市中央区明石2-3-44
10:00~17:00 無休 Pあり
お問い合わせ先 峰村商店
tel.025-250-5280



峰村商店
マーケティング担当
小林 潤さん
Jun Kobayashi

「味噌、日本酒、ビールなど、いろいろな蔵が一体となって沼垂を盛り上げています」



- 1 1・2 味噌蔵をリノベーションし、歴史を残しながら今っぽさを取り入れた直売所 3 味噌は、蒸した米に麹菌を吹き付けた米麹と、茹でた大豆や蒸した大豆を混ぜ合わせる。温醸庫に入れて2~4カ月熟成させたら完成
- 2
- 3



新潟市の主要道路である粟ノ木バイパスは、かつて新潟港と繋がる「粟ノ木川」という大きな川で、舟運が盛んに行われてきた。流通の良さで恵まれた地下水があったことなどから、日本酒の生産地として発展してきたようだ。古町エリアが花街として栄え、料理屋での酒の需要が高まったことも要因のひとつ。日本酒のみならず、味噌、ビールなど、時代とともに進化しながらも、伝統は受け継がれている。「発酵の町」沼垂(ぬったり)の街歩きにはたくさん発見があることだろう。



いまつかさしゅぞう 今代司酒造

見る・知る・買える老舗の酒蔵

1767年創業の老舗の酒蔵。「純米酒のみを製造し、食事を引き立てる食中酒を目指しています」と中島さん。酒蔵に直売店を併設し、無料の酒蔵見学や10種類以上のテイストは観光客に好評。酒造りをもっと身近に感じられる、日本酒を楽しむ最初の入り口になるだろう。人気の「錦鯉」シリーズや旬の食材と好相性の限定酒など、豊富なラインナップ。

data
新潟県新潟市中央区鏡が岡1-1
13:00~17:00(土日祝は9:00~)
無休
Pあり
お問い合わせ先 今代司酒造
tel.025-245-0325



今代司酒造
広報担当
中島恵美子さん
Emiko Nakajima
「新潟駅や新潟空港からのアクセスは抜群。1~2月はフレッシュな新酒が味わえます!」

- 3 1 新潟県産の高品質な酒米を使用。蔵人の職人技が上品な味わいを醸す 2 試飲は1,000円ではほぼ全種類が楽しめる 3・4 酒造りの工程や歴史、おいしさの秘密を解説 5 日本酒好きも唸る淡麗辛口から伝統の味まで幅広く展開
- 4
- 5



はっこうのまち ぬったりビール 発酵の町 沼垂ビール

新潟ならではのクラフトビール醸造所

新潟の素材を使った個性的なクラフトビールを作るマイクロブルワリー。沼垂のまち歩きには欠かせないスポットだ。「新潟らしい、芳醇なクラフトビール」をコンセプトに、小さな手作りの醸造設備でさまざまなフレーバーを生み出している。隣接した古民家ビアバブでは、コシヒカリやル レクチュエなどの蔵出しビールを味わえる。

data
新潟県新潟市中央区沼垂東2-9-5
17:00~21:00(土は13:00~、日は11:30~17:00)
月曜定休 Pあり
お問い合わせ先 発酵の町 沼垂ビール
tel.025-383-8720

1 デザインや名前もオシャレな本格クラフトビール。味も香りもバラエティ豊かにラインナップ 2 レトロ感漂う古民家ビアバブ。目の前のブルワリーを眺めながら愉しもう 3 黄金色のタップから注がれるビール。キメ細かい泡がおいしそう

- 1
- 3
- 2



発酵の町 沼垂ビール
代表取締役
高野善松さん
Zenmatsu Takano
「手作りのビールは小さなブルワリーならではの。新潟の良さをビールで表現していきたいです」

川とともに栄えた沼垂の醸造文化



NIIGATA CITY Culture Tourism
01 萬代橋



信濃川に架かる萬代橋の景観は時代を超えて親しまれてきた街のシンボル

1 886年に架橋された初代の木造の橋から街のシンボルとして親しまれてきた萬代橋。現在の萬代橋は1929年に架け替えられた三代目。6連アーチの優美さと石造りの重厚さが調和している。2004年に照明灯や橋側灯を建設当時の意匠に復元し、国の重要文化財に指定された。

data
新潟県新潟市中央区万代2-4
tel.025-244-2159
(新潟国道事務所)



NIIGATA CITY Culture Tourism
03 カトリック新潟教会



木造建築やステンドグラスに魅せられる美しい教会で祈りの時間を体験する

赤い屋根と双塔が美しい教会は1927年建造。ロマネスクとルネッサンスを取り入れた和洋折衷の木造建築は、函館市「トラビスタス修道院」で知られる建築家マックス・ヒンデルが設計した。聖堂のステンドグラスはフィレンツェ製で新潟教区らしい絵柄も見ることができ

data
新潟県新潟市中央区東大畑通1-656
tel.025-222-5024
9:00~18:00
(ミサが捧げられている間は建物の見学不可)
見学無料
Pあり



NIIGATA CITY Culture Tourism
02 新津記念館



新潟県初の国の登録有形文化財建造物 各国の様式を取り入れた豪華絢爛な迎賓館

石油事業で知られる新潟県出雲崎町出身の新津恒吉が1938年、自邸内に外国人迎賓館として建築した洋館。ジャコビアン様式の「イギリスの間」、ロココ調の「フランスの間」、「日本間」(「ドイツの間」は非公開)とテーマに合わせて贅を尽くした装飾や調度品から新津氏の当時の繁栄が伝わる。

data
新潟県新潟市中央区旭町通1-754-34
tel.025-228-5050
10:00~16:00
(入館は~15:40)
月休(月が祝の場合は翌日)、11月下旬~4月上旬休
入館料:高校生以上800円、小中学生400円
Pあり



NIIGATA CITY Culture Tourism
04 ぶらっと本町

古き良き街のぬくもりが残る商店街 新鮮な食材が揃う新潟の台所



長さ約150メートルに渡る本町通りの商店街「ぶらっと本町」と、新津屋小路の「本町中央市場商店街(人情横丁)」合わせて約80店舗と約20の露店が集結し、新潟の台所を形成している。新鮮な食材や特産品、生活用品まで揃う。地方発送も可能なのでおみやげ購入の場としても楽しめる。

data
新潟県新潟市中央区本町通6
tel.025-222-4790
(本町六商店街振興組合)
営業時間・定休日は店舗により異なる
Pなし



NIIGATA CITY Culture Tourism
05 旧市長公舎 安吾風の館



新潟市出身の無頼派作家・坂口安吾の資料を旧市長公舎にて公開。日本庭園も眺められる

大正時代に建てられ、現存最古ともいえる市長公舎の一角を活用して、2009年から作家・坂口安吾の遺品・所蔵資料を展示している。現代も多くの人を魅了する坂口安吾の新たな魅力を発信する。1992年に造られた日本庭園には、初代新潟奉行の時代に植えられたと思われる松群が残されている。

data
新潟県新潟市中央区西大畑町5927-9
tel.025-222-3062
10:00~16:00
月火休
(月火が祝の場合は翌日)
入館無料
Pあり



NIIGATA CITY Culture Tourism
06 中野邸記念館



紅葉時期の特別公開とライトアップに心躍る 石油王の大豪邸と錦秋の庭園めぐり

「日本の石油王」と称された中野貫一・中野忠太郎の親子が明治時代から大正時代に造営した屋敷と庭園を紅葉の時期に特別公開。近代和風建築と美術品コレクションを見学できる。130種類、2,000本余りのもみじが植えられた「泉恵園」ほか、庭・中庭にも魅了される。

data
新潟県新潟市秋葉区金津598
tel.0250-25-1000
9:30~16:00(日によって開館・閉館時間が異なる場合あり)
水休(11月は無休。開館期間は9月初・中旬~11月末)
入館料:大人1,000円、高校生以下無料 Pあり

NIIGATA CITY Culture Tourism
07 花と遺跡のふるさと公園



植物園や美術館に遺跡も集まる 里山エリアで豊かな時間を過ごす

43ヘクタールもある広大な里山内に「新潟県立植物園」、「新潟市新津美術館」、遺跡出土品を展示する「新潟県埋蔵文化財センター」、国の史跡「古津八幡山遺跡」、植物を販売する「新津フラワーランド」などが集まる。施設を巡った後は四季折々の自然を楽しむ里山散策を楽しもう。

data
新潟県新潟市秋葉区古津
tel.0250-23-1000
(新潟市秋葉区建設課)
営業時間・定休日・入館料は施設により異なる
Pあり



NIIGATA CITY Culture Tourism
08 種月寺



越後の曹洞宗四大道場のひとつに数えられた新潟県内の曹洞宗本堂を代表する貴重な建築物

室町時代に創建されたと伝わる曹洞宗の古刹。現在の本堂は1699年に新潟県内で活躍した出雲崎町の大工によって建てられた。新潟県を代表する曹洞宗の本堂建築として、1989年に国の重要文化財に指定された。庫裡に続く回廊、前庭、参道も落ち着いた美しさを見せてくれる。

data
新潟県新潟市西蒲区石瀬3356
tel.0256-82-2160
Pあり



NIIGATA CITY Culture Tourism
14 わらアートまつり
まつり・イベント



ユニークな巨大オブジェは必見!
稲わらを活用した農業地域ならではの催し

新 潟市で最大の農地面積を誇る西蒲区を舞台に開催される秋の恒例イベント。新潟市西蒲区産の「稲わら」を活用して制作されたわらアート作品が展示される。躍動感とユーモアあふれる巨大オブジェの数々は必見だ。展示のほかにも、地域の特産品販売や家族で楽しめる催しも行われる。

data
毎年8月下旬～10月下旬開催
会場:上郷湯公園
(新潟県新潟市西蒲区松野尾1)
問:新潟市西蒲区産業観光課
tel.0256-72-8417

NIIGATA CITY Culture Tourism
13 いわむろや
生活文化



開湯300年を超える歴史ある湯の街の観光拠点
岩室温泉と新潟市西蒲区のさまざまな情報を発信

新 潟市唯一の温泉街である岩室温泉を中心とした新潟市西蒲区の観光情報や伝統文化を発信・提供する施設。近隣農家の新鮮な野菜が並ぶ直売コーナーや多彩なメニューが揃う食堂のほか、無料で利用できる源泉掛け流しの足湯もある。年間を通じてさまざまなイベントも開催。

data
新潟県新潟市西蒲区
岩室温泉96-1
tel.0256-82-1066
9:00～19:00(売店は9:00～17:00、12～2月は9:30～16:30。食堂は11:00～14:00、足湯は9:00～18:30)
第1・3水休(祝の場合は翌日)
席数40 Pあり

NIIGATA CITY Culture Tourism
11 曾我・平澤記念館
史跡・建造物



旧笹川家住宅に隣接するレトロモダンな建物
ふたりの名誉村民の功績を後世に継承する

新 潟県旧西蒲原郡味方村出身の名誉村民、仏者・曾我量深と医学博士・平澤興の業績を偲び、遺品や文献図書類を展示している。入口のコロネード(連結された柱の並び)や望楼からの旧笹川家住宅や越後平野の眺めなど、建築家・香山壽夫が設計した心地良い空間を満喫できる。

data
新潟県新潟市南区
味方213-1
tel.025-373-6600
9:00～17:00
月休(祝の場合は翌日)、祝の翌休(土が祝の場合は火休)
観覧料:大人(高校生以上)500円、小中学生300円(旧笹川家住宅と共通。土日祝は小中学生無料) Pあり

NIIGATA CITY Culture Tourism
09 旧笹川家住宅
史跡・建造物



国指定重要文化財の大庄屋の旧屋敷
笹川家と村の歴史に思いを馳せる

14 代、300年以上にわたり続いた名家・笹川家。江戸時代に大庄屋を代々務め、地域の治水や新田開発に貢献した。約6,000坪の敷地の中に堂々とした茅葺きの表門(巽風門/そんぷうもん)、威厳ある表座敷、建ち並ぶ土蔵群があり、当時の大庄屋の格式の高さをうかがうことができる。

data
新潟県新潟市南区味方216
tel.025-372-3006
9:00～17:00
(入館は～16:10)
月休(祝の場合は翌日)、祝の翌休(土が祝の場合は火休)
観覧料:大人(高校生以上)500円、小中学生300円(曾我・平澤記念館と共通。土日祝は小中学生無料) Pあり

NIIGATA CITY Culture Tourism
15 Noism Company Niigata
芸術・芸能



新潟で創作した作品を国内外で上演
世界から注目を集める舞踊団

り ゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本初の公共劇場専属舞踊団。2004年に設立され、現在はプロフェッショナルカンパニー Noism1をはじめ3つの集団で構成。グローバルに展開する活動(国際活動部門)とともに地域に根差した活動(地域活動部門)を行う。

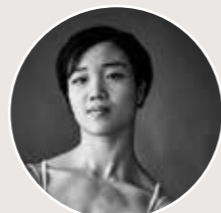
data
問:りゅーとびあ
新潟市民芸術文化会館
事業企画部 Noism係
tel.025-224-7000

FOCUS

三好綾音さん

●Noism1メンバー

東京都生まれ。研修生カンパニー Noism2を経て、現在はプロフェッショナルカンパニー Noism1に所属



photo_Noriki Matsuzaki

「Noismは芸術監督に選ばれたプロの舞踊家が新潟市の制度に基づいて専属契約を結び、年間を通して同じメンバーとトレーニングと創作をし、作品を発信します。作品は首都圏でも上演することがほとんどですが、ぜひ新潟で観ていただきたいです。物理的に日常から離れ、その場所で磨かれた舞踊家の身体を、そこに集まった人々と観ることで、何か考えることがあるかもしれません。ぜひ新潟の劇場にお越しください」

NIIGATA CITY Culture Tourism
12 沼垂テラス商店街
生活文化



昭和レトロな町並みを残しつつ
2015年に新しく誕生した商店街

元 港町、旧沼垂市場のレトロな長屋をリノベーションして誕生。老舗の青果店から飲食店、雑貨店、陶芸工房まで多彩なジャンルのお店が並ぶ。4～11月の第1日曜には特別出店なども含めて約60店舗がオープンする『朝市』が行われ、朝から多くの人で賑わう。12～3月には『冬市』を開催。

data
新潟県新潟市中央区
沼垂東3-5
tel.025-384-4010
(テラスオフィス)
営業時間・定休日は店舗により異なる
Pなし

NIIGATA CITY Culture Tourism
10 中之口先人館
史跡・建造物



新潟市中之口地区出身の先人たちの
偉業と遺徳を偲び、次世代へ伝える

新 潟市西蒲区中之口地区出身でさまざまな分野で活躍した先人たちの遺品や資料を展示・収蔵。新潟県が生んだ唯一の横綱で第36代横綱の羽黒山政司、文学博士の小柳司氣太、東映映画の創設者・大川博などの業績を伝える。併設するギャラリーは地域の文化活動の発表の場となっている。

data
新潟県新潟市西蒲区
中之口363
tel.025-375-1112
9:00～16:30
月休(月が祝の場合は翌日)、祝の翌休(日の場合はその翌々日)
観覧料:一般200円、高校生100円 Pあり

大豆ミートのメニューや
木製のルームキーなどを用意。
自然環境を考えたホテルステイ

ANAクラウンプラザホテル新潟は、SDGsを意識した取り組みを実施しながら、快適なホテルステイを提供している。

Point

- 1 ●大豆ミートを使った朝食を用意
- 2 ●サステナブルフードのお弁当を販売
- 3 ●プラスチックを使わない木製ルームキー

ANAクラウンプラザホテル新潟は、SDGsを意識したさまざまなサービスを行っている。例えば朝食では、大豆ミートを使ったミートソースのオムレツなどを提供。公平な取引により発展途上国の生産者支援につなげるフェアトレードコーヒーも利用者に好評だ。売店では、サステナブルフードのお弁当を販売。地産食材やホテルで出た生ごみを肥料にして育てた循環型野菜を使っている。また、プラスチックではなく木製のルームキーを使用し、部屋にはニュージーランド発祥のオーガニックブランドのアメニティを用意。地球環境を考慮しながらも快適なホテルステイを目指している。



- 1 1ソースに代替肉として注目されている大豆ミートを使用。品質もよく、おいしさも進化している
- 2 売店で販売しているサステナブルフードのお弁当。見た目も豪華。和・洋・中の3種を用意
- 3 木製ルームキー。薄い木の間にチップが挟まっている

エーエスエークラウンプラザホテルにいかた
ANAクラウンプラザホテル新潟
data 新潟県新潟市中央区万代5-11-20
tel.025-245-3333

持続可能な観光という選択肢



小川もりとさん
Morito Ogawa
新潟市出身。「ただ郷自然くらぶ」の一員として、ガイドツアーをしている。以前は長らく東京で暮らしており、前職はカメラマン。

data ガイドツアーの申し込みやお問い合わせ
道の駅 漢学の里しただ tel.0256-47-2230

Eco Tourism

新潟エコツーリズムのススメ

新潟には自然環境や歴史文化を体感できるガイドツアーやSDGsに取り組むホテル、さらに町家を利用した宿泊施設がある。そこには発見や学びがたくさん。今ある環境を未来へつなく、エコツーリズムの旅をしてみませんか？



- 1 遠くに見えるのが、雪が残る守門岳。麓には田んぼや民家が広がる
- 2 春先に咲き誇るカタクリ。紫色の小さな花だが、群生している様は見応えがある
- 3 森の中をトレッキング。新たな発見や動植物との出会いが醍醐味だ
- 4 北五百川の棚田は、日本の棚田百選にも選ばれている。見頃は5月の田植えの時期から

「自然の中での暮らしに憧れて、15年前に移住してきたんですよ」と話すのは、ただ郷自然くらぶの小川さん。のどかな下田の里をフィールドに、ガイドツアーを行っている。「春先はカタクリ、5月中旬にはピンク色のかわいいヒメサユリが咲く。北五百川（きたいもがわ）の棚田は日本の棚田百選にも選ばれているよ」と下田郷の自然美の話は尽きない。「映画『峠』で有名になった八十里越（はちじゅうりごえ）や景勝・八木ヶ鼻（やぎのはな）が人気のスポットです」。八十里越と呼ばれる峠道は実に35年もの間、道路工事が行われ、いよいよ2026年（予定）に開通し、新潟と福島がつながる。下田を巡るエコツーリズムは歴史と自然の尊さを見直す機会になるだろう。非日常や田舎を味わいたい人におすすめだ。

旧下田村の雄大な自然と美しい景色を満喫しよう

Eco Tourism
とは？

近年、エコツーリズムという旅のスタイルが注目されている。その土地の自然環境や歴史文化を体感し、それらを守っていくという意識に繋げる観光の在り方。地域固有の資源を発信し、観光客に理解されることで、地域の活性化や保全を心掛けた行動へと促す。豊かな自然や歴史文化を未来に残すという点でSDGsの考え方も共通点が多くある取り組みだ。

Fukushimagata

新潟を象徴する「潟」は生き物の宝庫! 福島潟で春に出会える仲間たちを紹介

福島潟はさまざまな動植物が集まる湿地。

野鳥が220種以上、植物が450種以上生息し、

白鳥の飛来地や菜の花の名所としても知られている。

春に出会える多種多様な生き物たちをご紹介します。

生息する生き物や歴史を紹介する施設、ビュー福島潟。展望ホールからは福島潟が一望! カフェもある。



福島潟は新潟市の東部に位置する、面積262haの湖沼です。ヨシ原が広がる大小の島が見えます。

福島潟は どうやってできたの?

その昔、ここは海でした。「新潟砂丘」と呼ばれる広大な砂丘ができたことで日本海と切断され、湖沼となったのが始まり。江戸時代から干拓が進み、農耕地の水源や水がめ、貴重な湿地帯として今に残ります。

散策を楽しみながら、ヨシぶき屋根の「潟来亭(かたらいてい)」でひと休み。昔ながらの民家は非日常な空間です!

四季を通して移り変わる 景色を楽しもう

夏・秋・冬も特色ある景色を見られるのが福島潟の魅力。春～夏は産卵時期を迎えた鳥たちが訪れ、ハスやオニバスの見頃となります。秋～冬は渡り鳥や美しい朝焼けを一目見ようと多くの観光客が訪れます。

オオヒシクイとオニバスの里・水の公園福島潟。新潟市街地から車で30分ほどのところにあり、さまざまな動植物が生息する貴重な湿地。県内外から多くの人々が訪れる。



- 1 三条市内の鍛冶技術によって製造された商品を展示している 2日中は「SAKUNOYA Cafe」として営業。手作りの白玉などを使った「白玉クリームあんみつ」を提供している
- 2



今井将智さん

Masatomo Imai
三条市下田地区出身。出身地にゲストハウス・村長の家、三条市街にカフェ・TREEをオープン。三条を元気にする取り組みを行っている

サクノヤ ホテルアンドカフェ
SAKUNOYA Hotel&Cafe
data 新潟県三条市元町12-6
tel.0256-46-8872

Eco Tourism



ものづくりのまち三条の文化を 宿泊することで体感

三条市の街なかに溶け込むように佇む築80年以上の町家。こちらは1日1組限定の宿泊施設。元々、文房具店として使われていたという建物で、広々とした土間や吹き抜けで開放的な和室など、建築当時の造りがそのまま残されている。そのノスタルジックな雰囲気求めてか、首都圏からの宿泊客がほとんどだ。施設名の「SAKU」には街を「散策」するという意味の他、「創作」という意味もある。「ものづくりのまち三条の伝統や文化を多くの方に知っていただく、そのお手伝いをするのが僕の役目」と、代表の今井さん。施設内には、近くにある三条鍛冶道場所有の和釘や墨壺、鉞、刃物などを展示。使い方や由来なども紹介し、実際に手に取って利用体験も可能だ。宿泊して職人たちの思いを感じてほしい。

大豆ミートのメニューや
木製のルームキーなどを用意。
自然環境を考えたホテルステイ

ANAクラウンプラザホテル新潟は、SDGsを意識した取り組みを実施しながら、快適なホテルステイを提供している。

Point

- 1 大豆ミートを使った朝食を用意
- 2 サスティナブルフードのお弁当を販売
- 3 プラスチックを使わない木製ルームキー

ANAクラウンプラザホテル新潟は、SDGsを意識したさまざまなサービスを行っている。例えば朝食では、大豆ミートを使ったミートソースのオムレツなどを提供。公平な取引により発展途上国の生産者支援につなげるフェアトレードコーヒーも利用者に好評だ。売店では、サスティナブルフードのお弁当を販売。地産食材やホテルで出た生ごみを肥料にして育てた循環型野菜を使っている。また、プラスチックではなく木製のルームキーを使用し、部屋にはニュージーランド発祥のオーガニックブランドのアメニティを用意。地球環境を考慮しながらも快適なホテルステイを目指している。



- 1 ソースに代替肉として注目されている大豆ミートを使用。品質もよく、おいしさも進化している
- 2 売店で販売しているサスティナブルフードのお弁当。見た目も豪華。和・洋・中の3種を用意
- 3 木製ルームキー。薄い木の間にチップが挟まっている

エーエスエークラウンプラザホテルにいかた
ANAクラウンプラザホテル新潟
data 新潟県新潟市中央区万代5-11-20
tel.025-245-3333

持続可能な観光という選択肢



小川もりとさん
Morito Ogawa
新潟市出身。「ただ郷自然くらぶ」の一員として、ガイドツアーをしている。以前は長らく東京で暮らしており、前職はカメラマン。

data ガイドツアーの申し込みやお問い合わせ
道の駅 漢学の里しただ tel.0256-47-2230

Eco Tourism

新潟エコツーリズムのススメ

新潟には自然環境や歴史文化を体感できるガイドツアーやSDGsに取り組むホテル、さらに町家を利用した宿泊施設がある。そこには発見や学びがたくさん。今ある環境を未来へつなく、エコツーリズムの旅をしてみませんか？



- 1 遠くに見えるのが、雪が残る守門岳。麓には田んぼや民家が広がる
- 2 春先に咲き誇るカタクリ。紫色の小さな花だが、群生している様は見応えがある
- 3 森の中をトレッキング。新たな発見や動植物との出会いが醍醐味だ
- 4 北五百川の棚田は、日本の棚田百選にも選ばれている。見頃は5月の田植えの時期から

「自然の中での暮らしに憧れて、15年前に移住してきたんですよ」と話すのは、ただ郷自然くらぶの小川さん。のどかな下田の里をフィールドに、ガイドツアーを行っている。「春先はカタクリ、5月中旬にはピンク色のかわいいヒメサユリが咲く。北五百川（きたいもがわ）の棚田は日本の棚田百選にも選ばれているよ」と下田郷の自然美の話は尽きない。「映画『峠』で有名になった八十里越（はちじゅうりごえ）や景勝・八木ヶ鼻（やぎのはな）が人気のスポットです」。八十里越と呼ばれる峠道は実に35年もの間、道路工事が行われ、いよいよ2026年（予定）に開通し、新潟と福島がつながる。下田を巡るエコツーリズムは歴史と自然の尊さを見直す機会になるだろう。非日常や田舎を味わいたい人におすすめだ。

旧下田村の雄大な自然と美しい景色を満喫しよう

Eco Tourism
とは？

近年、エコツーリズムという旅のスタイルが注目されている。その土地の自然環境や歴史文化を体感し、それらを守っていくという意識に繋げる観光の在り方。地域固有の資源を発信し、観光客に理解されることで、地域の活性化や保全を心掛けた行動へと促す。豊かな自然や歴史文化を未来に残すという点でSDGsの考え方も共通点が多くある取り組みだ。

Eco Tourism



- 1 三条市内の鍛冶技術によって製造された商品を展示している 2日中は「SAKUNOYA Cafe」として営業。手作りの白玉などを使った『白玉クリームあんみつ』を提供している
- 2



今井将智さん

Masatomo Imai

三条市下田地区出身。出身地にゲストハウス・村長の家、三条市街にカフェ・TREEをオープン。三条を元気にする取り組みを行っている

サクノヤ ホテルアンドカフェ

SAKUNOYA Hotel&Cafe

data 新潟県三条市元町12-6

tel.0256-46-8872



ものづくりのまち三条の文化を
宿泊することで体感

三条市の街なかに溶け込むように佇む80年以上の町家。こちらは1日1組限定の宿泊施設。元々、文房具店として使われていたという建物で、広々とした土間や吹き抜けで開放的な和室など、建築当時の造りがそのまま残されている。そのノスタルジックな雰囲気求めてか、首都圏からの宿泊客がほとんどの。施設名の「SAKU」には街を「散策」するという意味の他、「創作」という意味もある。「ものづくりのまち三条の伝統や文化を多くの方に向けていただく、そのお手伝いをするのが僕の役目」と、代表の今井さん。施設内には、近くにある三条鍛冶道場所有の和釘や墨壺、鉞、刃物などを展示。使い方や由来なども紹介し、実際に手に取って利用体験も可能だ。宿泊して職人たちの思いを感じてほしい。

Fukushimagata

新潟を象徴する「潟」は生き物の宝庫！ 福島潟で春に出会える仲間たちを紹介

福島潟はさまざまな動植物が集まる湿地。

野鳥が220種以上、植物が450種以上生息し、

白鳥の飛来地や菜の花の名所としても知られている。

春に出会える多種多様な生き物たちをご紹介します。

生息する生き物や歴史を紹介する施設、ビュー福島潟。展望ホールからは福島潟が一望！カフェもある。



キジ

ヒバリ

カイツブリ

カッコウ

カルガモ

福島潟は新潟市の東部に位置する、面積262haの湖沼です。ヨシ原が広がる大小の島が見えます。

福島潟は どうやってできたの？

その昔、ここは海でした。「新潟砂丘」と呼ばれる広大な砂丘ができたことで日本海と切断され、湖沼となったのが始まり。江戸時代から干拓が進み、農耕地の水源や水がめ、貴重な湿地帯として今に残ります。

散策を楽しみながら、ヨシぶき屋根の「潟来亭(かたらいてい)」でひと休み。昔ながらの民家は非日常な空間です！

四季を通して移り変わる 景色を楽しもう

夏・秋・冬も特色ある景色を見られるのが福島潟の魅力。春～夏は産卵時期を迎えた鳥たちが訪れ、ハスやオニバスの見頃となります。秋～冬は渡り鳥や美しい朝焼けを一目見ようと多くの観光客が訪れます。



カンムリカイツブリ



カキツバタ



サギゴケ



オオヨシキリ



ツボスミレ



モンシロチョウ



ホオアカ



ニホンアカガエル

サワオグルマ



オオルリハムシ



ノイバラ



イタチ



タヌキ

オオヒシクイとオニバスの里・水の公園福島潟。新潟市街地から車で30分ほどのところにあり、さまざまな動植物が生息する貴重な湿地。県内外から多くの人々が訪れる。

豪農が今にも 残してくれたもの

自然環境を改良し成長した農業と
自然条件を活かして生み出された産業文化

自然と共生し、改良を重ね、
日本の米どころになった新潟。
その繁栄を牽引した
豪農の存在。

大地の改良こそが 米どころの第一歩

新潟県は米の産出額、水稲収穫量、稲の作付面積のいずれも日本一という全国有数の米王国。信濃川、阿賀野川の2つの大河がもたらした肥沃で広大な新潟平野では、コシヒカリに代表される日本の食の源米が大量に作られている。しかし、今こそ全国有数の米の生産地だが、その昔は日本海に面して砂丘が続いており水はけが悪かったため、潟や湿原が多く点在する米作りには適さない地だった。

江戸時代後半から土地の改良や水路の整備など、地主がさまざまな新田開発を積極的に進めたことで新潟平野の基盤ができ、米作りが盛んになっていく。明治に入ると、土木技術の進歩と商業で蓄えた資本投資によって更に干拓や新田開発が進む。「湿地帯は広大な水田へと姿を変え、大河が運んでくる豊かな水がそれを潤し、より多くの米が作られるようになりました。それが大地主の成長を促していきまし」と郷土史研究家で北方文化博物館館長の神田さんは話す。

1873年(明治6年)の地租改正で、税を米ではなく現金で納めるようになったことも大きく影響する。「それまで現金での取引など経験したことなかった農民たちの中には、それに対応できず、最終的に土地を手放す者が現れます。そんな土地を地主が買い集め、次第に巨大地主が形成されていきます」。巨大地主は、地域の田畑だけではなく、他の市町村の田畑や山林をも所有。小作料収入などだけではなく、問屋業、金融業など商工業にも進出。「時代や家によって方針はさまざまですが、それぞれの家訓に従って地域をまとめ、多方面で財を成し圧倒的な経済力で存在感を示していくんです」と神田館長。

1924年(大正13年)の国の調査によると1000町歩以上の巨大地主は北海道を除くと全国で9家あり、その内、新潟県には5家(市島家・現新発田市、斉藤家・現阿賀野市、白勢家・現新発田市、伊藤家・現新潟市江南区、田巻家・現田上町)があった。なお、町歩とは面積を表す農業用語の単位で1町歩が3000坪。東京ドームの広さが約4.7町歩。1000町歩とは東京ドーム約212個分に相当する。

北方文化博物館館長
神田勝郎さん
Katsurou Kanda

郷土史研究家。『北方文化博物館と澤海の風景』など著書多数。2008年北方文化博物館評議員就任の後、2017年同副理事長、兼館長に就任。現在に至る。1937年生まれ。





椿寿荘

data 新潟県南蒲原郡田上町大字田上丁2402-8
 入館料:大人400円、小中学生300円
 9:00~16:00 水曜定休(10・11月は無休) Pあり
 お問い合わせ先 椿寿荘 tel.0256-57-2040



北方文化博物館

data 新潟県新潟市江南区沢海2-15-25
 入館料:大人800円、小中学生400円
 9:00~17:00(12~3月は16:30まで) 無休 Pあり
 お問い合わせ先 北方文化博物館 tel.025-385-2001

圧倒的経済力で存在感を示し、
 広大な土地を所有した豪農たち。
 戦後の農地改革で全ての耕作地を手放し、
 地主は消滅することになるが、
 彼らが残した美しい庭園や
 贅を尽くした建築物から
 当時の繁栄を感じ取ることができる。
 公開されている豪農の館を
 2つ紹介する。

WEALTHY
 FARMER
 農業・産業文化
 AGRICULTURE &
 INDUSTRY

江戸時代の中頃、田上には田巻姓の豪農が2家あり、それぞれ三郎兵衛七郎兵衛と代々名乗っていた。地元では前者を本田巻、後者を原田巻と呼んでいた。椿寿荘は、その原田巻家の離れ座敷。880坪の敷地に建坪140坪の頑丈な座敷が建っている。その強度は、完成時に入れた大正ガラスが、未だ自然災害では割れていないことからも推測される。1897年(明治30年)、当時の日本三代名工のひとりと称された富山県の宮大工、松井角平を棟梁に招く。不況で仕事がなく困っていた小作人のために仕事を作り出す救済事業としてはじめられたこともあり、何年かかっても、どんなに費用がかかってもいい、とにかく贅を尽くし

全国の銘木・銘石で造られた離れ座敷

椿寿荘

て造るよう依頼。資材は吉野杉、木曾檜、会津檜、稲田石など、全国から銘木・銘石を集めた。着工したのは1914年(大正3年)。1日300人程の小作人が働き、3年半の歳月をかけて完成した。釘類を一本も使わない寺院様式を用いた書院造で、見学に訪れる建築家や宮大工も驚くほど。3間続く大広間に面して設けられた主庭は、奥の五重塔の石組みが須弥山に、脇の石は須弥山を取り囲む山々に見立て深山幽谷を表現。そこから建物に向かつて飛石が敷かれ、水の流れを表した京風の枯山水となっている。圧巻は、露縁のひさしを支える20メートルもの吉野杉。無節のまつすぐな美しい姿は見事である。

1 庭は見事な京風の枯山水 2 3間続きの大広間。一番奥の上段の間の床の間は歴史を感じる。菊を透かし彫りした欄間など見どころ満載 3 湯田上温泉の旅館が作るお弁当は要予約で味わえる



凛とした風格感じる豪農の館

北方文化博物館

染料の藍の商いを皮切りに、さまざまな商売で財を成し、旗本知行所時代には御用達となつて力をつけた伊藤家。1924年(大正13年)には、1346町歩を保有する巨大地主に成長する。「悪田を買い集め、美田にして小作人に返すべし」という家訓があるくらい小作人との関係は良好な豪農だったよう。この建物は1882年(明治15年)に、5代目当主が会津、山形、秋田から資材を買い付け、約8年の歳月をかけ、8800坪の敷地に建坪1200坪、部屋数65を有する大邸宅を完成させる。庭は、銀閣寺の2つの清泉の石組を発掘・復元した柏崎出身の田中泰阿弥という天才庭師による池泉回遊式庭園で、自身の最高傑作

と誇った美しさ。柱の少ない約1000畳の大広間との一体感も見事な造りだ。1946年(昭和21年)の農地開放後、アメリカ軍に接収されそうになるが、博物館構想を唱える7代目当主とアメリカ軍の接収担当者が大学の同窓生だったということも味方し、広大な敷地や建物、庭、美術品などを寄付。戦後初の私立博物館となり、今なお当時の雰囲気をとどめたまま保存されている。その後、野外音楽堂やレストランなどを開き市民に利用されるとともに、皇室の方々の来訪をはじめ、2008年(平成20年)には主要8カ国(G8)労働相会合のレセプション会場となるなど、数多くの要人をもてなす場としても提供されている。



3 調度品や書などが随所に展示されている。主屋2階は伊藤家の貴重な資料室となっている 4 中庭にある樹齢160年の大藤。見頃は4月下旬から5月上旬



織物の神様が五泉に!

五泉市の八幡宮に織物の神様「機神様」が祀られている。本殿の直ぐ右側の「服部神社」がそれだ。繊維産業の祖神様として篤く信仰されていた機神様。例年、5月25日に行われる大祭には昭和の頃までは県知事が出席していたという。当時の繊維産業の繁栄がうかがえる。

五泉八幡宮

data 五泉市宮町5-45 tel.0250-42-3220

五泉ニット

いせり

メイドイン五泉の五泉ニットには、五泉ニット工業協同組合が制定した「Gosen Knit」ブランドのシンボルロゴが施されている。



「五つの泉が豊かに湧き出る里」と言われるように、良質で豊富な水資源に恵まれた五泉市。絹織物の風合いは水で決まるため、この良質な水と独自の技術を武器に、江戸時代から戦前まで、京都の丹後、滋賀の長浜とともに「全国三大白生地産地」として絹の織物産業で栄えてきた。しかし戦後、人々の生活スタイルが和装から洋装へと一変。それに伴い目覚ましい発展を遂げたのがニット工業だ。全国屈指の技術力は大手アパレルから支持され、ファッション雑誌を賑わすトップブランドの製品も数多く生産するまでになる。他の産地では難しいとされる細い糸を使つての編立や、革や布はくなどの異素材と組み合わせる製品なども五泉ニットの特徴だ。さらに、地域内に染色から刺繍、整理加工、プレスなどの二次加工技術が集まっているため、一貫生産ができる産地というのも日本では珍しい。現在は、校舎を思わせる五泉ニット工業協同組合の事務所をリノベーション。五泉ニットのショップやカフェ、コワーキングスペース、イベントホールなどを併設する「LOOP&LOOP」として五泉ニットの情報を発信している。

「LOOP&LOOP」から五泉ニットの情報を発信



五泉ニット工業協同組合 LOOP&LOOP

data

新潟県五泉市吉沢1-1-10

入場無料 10:00~17:00(ショップは16:00まで) 火曜定休 Pあり

お問い合わせ先 LOOP&LOOP tel.0250-42-2156

3 | 1
2

1・2 伝統と経験に裏付けされた確かな技術で世界に発信する製品を作る 3 現在の情報発信基地「LOOP & LOOP」。写真はGosen Knitを販売するショップ。他に、カフェやイベント、ワークショップスペースもある

WEALTHY FARMER
農業・産業文化
AGRICULTURE & INDUSTRY

加茂桐箆笥

かもきりたんす

米と同じように、新潟には地の利を活かした工業も発展している。ここでは全国的にも多くのファンを持つ加茂桐箆笥と五泉ニットの紹介する。各組合に問い合わせれば、見学できる工場も紹介してくれる。

手作業による高い技術は全国の市場から高く評価

加茂は桐箆笥の全国生産量の70%を占める日本一の産地。その歴史は古く、加茂で初めて桐箆笥が作られたのは江戸時代中期と伝えられている。この伝統と手作業による高い技術は全国の市場から高く評価され、1976年(昭和51年)には、伝統的工芸品として通商産業大臣(当時)の指定を受けているほど。

加茂市は、新潟県のほぼ中央に位置し、総面積の7割が山間地帯。古くから天然桐が豊富だったことなどが箆笥づくりが盛んになった要因だ。桐箆笥は、衣類を湿気や害虫から守り水害や火災にも強いという特徴がある。そこに加茂の職人による高い技術が加わり、より気密性が高く隙間のない箆笥に仕上げられる。そのため、特に着物の保管に重宝されてきた。また、桐は成長が早かったことから、昔は「娘が生まれたら庭に桐の木を植える。そうすれば嫁に行く頃に大きくなって箆笥にして花嫁道具にできる」と言われていたほど。

現在、加茂箆笥協同組合では「加茂桐箆笥屋マップ」を制作。工房やショップ巡りを案内している。



加茂箆笥協同組合

data

新潟県加茂市幸町2-2-4 加茂市産業センター2F

tel.0256-52-0445

4 | 3 | 1
2

1 美しい和箆笥 2 伐採後は1~3年間、天日に当て雨風にさらされながら天然乾燥される 3 確かな技術が加茂桐箆笥の価値を高めた 4 最近では現在の洋室にマッチした色合いやサイズ感の洋風なデザインも増えている



自分でペイントした狐の面をかぶって伝説の主人公になろう

狐の嫁入り伝説

【阿賀町】



麒麟山で見られた狐火の
幻想的な光景が現代に蘇る

阿賀野川と常浪川が合流する場所にそびえ立つ麒麟山。中国の想像上の動物に姿が似ていることで名付けられたこの山には古くから狐が多く生息しており「狐火」と呼ばれる光が頻繁に見られたという伝承がある。
かつてこの地域の嫁入りは夕方から夜にかけて行われ、提灯を下げて嫁入



「つがわ狐の嫁入り行列」のクライマックス。披露宴を終えた花嫁は渡し舟に乗って川を渡り、麒麟山の麓へ。提灯が灯る光景は、伝説の光景を見ているかのようだ

りに行列していった。この行列が麒麟山の峠を越えていく際の光景が、あたかも狐火に見えたことが、狐の嫁入り伝説が生まれた理由なのだろう。現在の言い伝えは狐メイクをしたカップルを先頭に練り歩く「つがわ狐の嫁入り行列」で再現。毎年春に行われ、3万人にも及ぶ観光客が訪れている。

つがわ狐の嫁入り行列をテーマにした施設で狐の面作りをしよう



阿賀町津川にある「狐の嫁入り屋敷」の館内には、狐の嫁入り行列を約30分の1で再現したジオラマや、映像資料などを展示。こちらで大人気なのが「狐の面作り体験」。大人から子どもまで自由なデザインでペイント可能だ。体験料1,600円。

きつねのよめいりやしき
狐の嫁入り屋敷
data 新潟県東蒲原郡阿賀町津川3501-1
tel.0254-92-0220



- 1 1境内に残されている「蛇枕石」
- 2 2山門をくぐると正面に本堂。北側に禅堂、衆寮、南側に庫裏、東司・浴司、経蔵があり、山門から伸びる回廊でつながっている

Legend

「伝説が残る地」を訪ねる

各地に残されている歴史や伝説に思いを馳せ
その地を実際に歩いてみる旅も悪くない
不可思議な言い伝えが残る二つの地を紹介しよう

大蛇伝説

【滝谷 慈光寺】

静寂の古寺にまつわる
大蛇の言い伝え



昏間でもほの暗い杉並木。見上げるほどに高くそびえる天然記念物の杉の老木は樹齢300〜500年。10分ほど歩き、たどり着くのが、国登録有形文化財である慈光寺だ。創立年代は明らかではないが、応永10年（1403年）南朝方の天皇・後醍醐天皇の配下にあった楠木正成の裔孫・傑堂能勝禪師により中興開山されたと言われる。この地に伝えられているのが「大蛇伝説」だ。白山の奥地の池に住んでいた大蛇が暴れ、村人を困らせていたが、傑堂和尚の講経によって、大蛇は俗世の苦しみから救われて立ち去ったという。その池の跡に建立されたのが慈光寺と言われているのだ。本堂前の境内には大蛇がひと休みしたときに使ったと言われる石枕が「蛇枕石」として今も残されている。

たきや じこう
滝谷 慈光寺
data 新潟県五泉市蛭野870
tel.0250-58-4000

Niigata Local Foods

新潟・食のアラカルト

新潟のおいしい食べ物はお米と魚だけじゃない！ 肥沃な土地で育った農産物、昔ながらの郷土料理も絶品。ローカルなラーメンやB級グルメも数多くある。

タレかつ丼



新潟のカツ丼スタイル。しっとり柔らかいモモ肉のカツを、甘じょっぱいタレにくぐらせる。ご飯が止まらないご当地グルメ！

新潟ラーメン



新潟5大ラーメンのひとつ「新潟あつさり醤油」。醤油スープに縮れ麺、メンマ、チャーシュー、ネギ、ナルトをトッピング。

新潟市西区の黒埼地区で栽培されているブランド枝豆。6月から10月にかけて旬を迎え、あえて成熟する前のタイミングで収穫するのが黒埼流。その理由として「8分の実の入りは香りがよく、旨み成分のアミノ酸を多く含んでいる一番おいしいときなんです」と永井さん。さらに、日光に当たって甘みが落ちないように、深夜に収穫する「朝採り」も特徴。枝豆を大量に塩茹でして、ザルにてんこ盛りにして食べるのが新潟のスタイル。手が止まらないおいしさだ。

くろさき茶豆

実入り8分の収穫がおいしさの秘訣



永井農園
永井武晴さん
Takeharu Nagai

えだまめ生産農場永井農園の代表。くろさき茶豆やコシヒカリなどを生産している。高品質の枝豆は県内外のみならず海外からも好評。

のっぺ



地域ごとに具材が変わる新潟の郷土食

新潟県の代表的な郷土料理のひとつ。貝柱やしいたけ、昆布、煮干し、かつお節でダシを取り、里芋やきのこ、にんじん、鶏肉などを煮込んだ煮物。鮭の身やいくらなどをトッピングしたり、くずを用いてとろみを加えたりするなど地域によつ

て特色がある。「昔、村の祭りや秋の収穫を祝う料理として誕生したのがのっぺの発祥。冠婚葬祭や正月にも食べられてきました」と吉澤さん。田舎家ののっぺはダシが決め手。時代に合わせて味を調整し、厳選した食材を使うことを心掛けている。

類産梨



国の天然記念物の古木から採れる貴重な和梨。収穫時期は10月末頃。少し酸味のある味で加工品のようなかんは特産品。

半身から揚げ



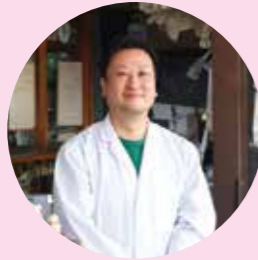
鶏の半身を塩とカレー粉で味付けて、カラッと揚げた新潟名物。濃い味と鶏肉のプリプリ食感がたまらない。

バスセンターのカレー



新潟市の商業地・万代シティバスセンターで食べられるカレーライス。初めて食べても昔懐かしいピリ辛で素朴な味わい。

笹川餅屋
笹川太朗さん
Taroo Sasagawa



笹川餅屋の6代目。笹団子や切り餅、まんじゅう、餅菓子を製造・販売。次世代に新潟の和菓子のよさを伝えたいという思いを大切に、伝統の味を継承している。

笹団子

昔ながらの原料と製法で作られる



「主に新潟県産のもち米とよもぎ、うるち米、上新粉を小麦粉と水と合わせて石臼でついた生地で、ひとつひとつ手作業であんこを包む。笹でくるんで蒸し上げること、笹の香りが餅に移るんです」と笹川さん。越後に暮らす人たちの知恵から生まれた保存食として作られたのが発祥だとか。昭和39年に開催された新潟国体では、4代目の祖父が考案した笹団子が新潟土産として販売され、選手たちを通じて全国に広まった。しっかどいい甘さのあんこが好相性。

「What's Michael?」の世界観あふれる 新潟市観光循環バスに乗って市内中心部を散策しよう

新潟市出身のマンガ家・小林まこと先生の「What's Michael?」のキャラクターが描かれたラッピングバス。令和元年10月から運行をスタートし、新潟市内中心部を循環している。このバスに乗ってマンガの家やマンガ・アニメ情報館を巡ることも可能だ。市民や観光客、SNSの反応も好評。車内の降車ボタンも特別なデザインとしているなど細部の装飾も凝っていて、移動の時間がより楽しくなる工夫が施されている。



ネコの
マイケルが描かれた
ラッピングバスで
街巡り♪



小池利春さん
Toshiharu Koike

新潟市出身。マンガの家とマンガ・アニメ情報館の統括館長。元マンガ家の顔を持つ。手に持っているのは小池さんの作品『星はいつでも屋根の上』。

Comic&Animation

マンガ・アニメの 拠点施設を訪ねてみよう

新潟県は昔から多くのマンガ家を輩出していることをご存じかな？
有名作品も多数！ マンガ・アニメの文化が根付いた街なのだ。



ご当地キャラクターの
花野古町と笹団五郎の
アニメを上映

ウナギイヌがお出迎え！
まるでマンガの世界に
迷い込んだみたい！



新潟にゆかりのある
先生たちのマンガが
たくさん



意外と知られていない
隠れた施設…

1万冊のマンガが
読める楽園なのだ！



エイッ!

人気キャラクターの
ゲームもあるよ♪

アフレコに挑戦！
吹き込みが難しい…。
声優さんってすごいなあ



飛び出す
パタリロ！

自分で描いた絵が
缶バッジに
なるって素敵！



©魔夜峰央

©赤塚不二夫



にいかけしマンガ・アニメじょうほうかん
新潟市マンガ・アニメ情報館
data 新潟県新潟市中央区八千代2-5-7 万代シティ
BP2 1階 tel.025-240-4311 11:00~19:00
(土日祝は10:00~、最終入場は18:30) 無休
入館料:一般200円、中高生100円、小学生50円 Pなし

「マンガやアニメの作り方を遊びながら体感する」がコンセプトの体験施設。マンガやアニメの制作工程をはじめ『天才バカボン』や『うる星やつら』のキャラクターと遊べるゲーム、声優気分を味わえるアフレコ体験など多彩なアクティビティが用意されている。ファンはもちろん、ファミリーにもおすすめ。旬の人気マンガ・アニメの企画展や作家のサイン会も開催されるなど、情報発信基地でありながら、作り手とファンの交流の拠点としても親しまれている。「マンガ・アニメの仕事に興味を持ってもらえるとうれしいです」と小池さんが話すように、楽しむだけではなく、制作のことも身近に感じられる場所だ。将来の夢のきっかけになるかもしれない。いたるところに新潟の代表的なマンガ家・小林まこと先生の『What's Michael?』のキャラクターたちが隠れているので探してみよう！

マンガとアニメの作り方を 学べる体験型施設



にいかけしマンガのいえ
新潟市マンガの家
data 新潟県新潟市中央区古町通6-971-7
tel.025-201-8923 11:00~19:00
水曜定休(祝日の場合は翌平日) 入場無料
Pなし

1万冊を無料で読み放題！
マンガの世界を堪能しよう

1万冊の蔵書と常設展示、体験コーナーで構成された、新潟のマンガ文化を学び、触れることができる施設。ポイントは「おそ松くん」や『天才バカボン』で知られる赤塚不二夫先生、『パタリロ!』の魔夜峰央先生など、新潟ゆかりの大御所をはじめ、県内外の名立たるマンガ家の作品が無料で読み放題であること。ギャグマンガを中心とした、マニアも唸る名作揃いだ。「各ジャンルの最高峰とも言える先生たちが新潟県出身。マンガ喫茶とは異なるラインナップをお楽しみください」と小池さん。読む人によっては懐かしさ、新鮮に感じるマンガに出会えるだろう。そのほか、キャラクターと一緒に撮影できるフォトスポットや缶バッジ作り、マンガ制作や講座を開催しているワークショップなど、体験コーナーも充実している。読んで体感して、マンガの世界を楽しもう！

ものづくりの町を訪ねて

「心」を学ぶ。

「心」を清め、

POWERSPOT
&
CRAFTSMANSHIP
弥彦・燕三条
→ 匠 ←
YAHIKO
TSUBAMESANJO

神が宿る地・弥彦と



1 朱色が目を引く一の鳥居 2 一の鳥居から続く参道。先に見えるのは昭和15年(1940年)建立の随神門 3 随神門右手に鎮座する摂社・末社。境内外に18社ある。こちらにも参拝を

3 | 2 | 1

神社の 境内を巡る

てきたといわれている。歴代の大名や武将も篤く信仰したとされ、日本最古の歌集『万葉集』には彌彦神社を詠んだものが二首収められ、古くからその名が知られてきたことがうかがえる。

これまでの歴史に培われた祭典、神事も多く、彌彦神社では年間400を超える行事が行われる。「弥彦に春の訪れを告げる観光協会主催の『湯かけまつり』を筆頭に、7月に行われる燈籠神事『弥彦燈籠まつり』では五穀豊穡、疫疾退散を願います。大小さまざまな燈籠の巡行で大いに賑わい、見応えがあります」と権禰宜の高橋さん。コロナ禍で中止になった行事も多いが、四季折々のおまつりや神事を通して、神社と地域が深く関わってきた。

森に囲まれた境内は約4万坪にも及び、見事な社叢を歩くだけでも心が洗われる。境内には玉の橋、御神木、重軽の石と、御祭神にまつわる見どころも多い。拝殿を参拝したら散策を楽しんで、歴史の片鱗に触れてみてほしい。

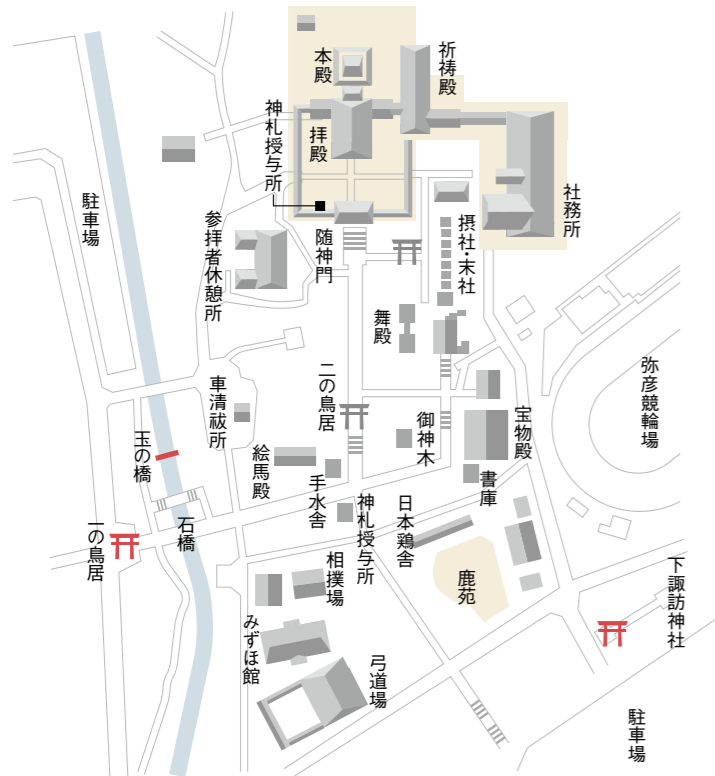
POWERSPOT
&
CRAFTMANSHIP
弥彦・燕三条
YAHIKO
TSUBAMESANJO

彌彦神社の 歴史と由緒

凛とした佇まいと神聖な空気
新潟随一のウースポット

厳かであり、時に温かい。広大な越後平野にそびえる彌彦山を背景に、悠然と佇む彌彦神社は神々しくもあり、どこか親しみやすさにあふれている。地域では「おやひこさま」と親しまれ、日々参拝する人の姿が絶えない。七五三やお宮参り、合格や良縁祈願、五穀豊穡や商売繁盛など、新潟で暮らす人々の人生に常に寄り添い、ふとした時の心の拠り所としても親しまれてきた神社である。

彌彦神社の創建は崇神天皇御代の2000年以上前にさかのぼる。御祭神である天香山命(あめのかごやまのみこと)伊夜日子大神(いなひこ)は天照大神(あまてらすおおみかみ)のひ孫にあたり、神武天皇の命によって越の国、現在の長岡市寺泊野積に上陸。この地の人々に漁業や製塩、酒造などの技術を受け、後に稲作や畑作を始めて越の国の産業の礎を築い



伊夜日子大神が立てた椎の枝が大樹になったとされる御神木。立派な幹と枝が歴史を感じさせる

権禰宜
高橋孝至さん
Kouji Takabashi

彌彦神社の広報を担う教化課に在職。神社の歴史や由緒、地域の関わりから神道について幅広く発信している。「彌彦神社には歴史적인な見どころも数多くあります。ご参拝とあわせて歴史散策もお楽しみください」



5 | 4
7 | 6

4 持ち上げた時の重量感で吉凶を占う「重軽の石」 5 神様が渡ると思われる「玉の橋」 6 毎年7月25日開催の「燈籠神事」。五穀豊穡などを願う 7 彌彦温泉発祥の地、湯神社の御神湯をいただく「湯かけまつり」



やひここうえん

弥彦公園

春は桜、秋は紅葉も美しい弥彦の名所

春には1,000本の桜が出迎え、秋には県内有数の紅葉の名所として知られる「もみじ谷」に多くの人々が訪れる。公園中央西側にある弥彦公園トンネルは国の登録有形文化財。馬蹄形アーチ断面になる煉瓦造りの歩行者用トンネルだ。

data 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦667-1
入園無料 Pあり
お問い合わせ先 弥彦観光協会 tel.0256-94-3154



やひこやまスカイライン

弥彦山スカイライン

山麓から山頂をつなぐドライブコース

麓の弥彦温泉付近から弥彦山山頂までを結ぶ全長16.8kmの道路。越後平野や日本海、佐渡までを一望でき、その雄大な景色に圧倒される。彌彦神社の祭神・天香山命と姫神・熟穂屋姫命を祀る御神廟がある山頂にも足を運んで。

data 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦
通行料無料(冬期間通行止) Pあり
お問い合わせ先 弥彦観光協会 tel.0256-94-3154

彌彦神社周辺の文化観光スポット

国の登録有形文化財になっているトンネルのある弥彦公園をはじめ、神社周辺にある、弥彦の文化を感じられる場所にもあわせて足を運んでみて。



やひこめいか たまうさぎ いとや

弥彦銘菓 玉兎 糸屋

弥彦に語り継がれる兎を象った伝統菓子

畑を荒らす兎たちを諭したとされる伊夜日子大神。その御神徳に感謝して誕生したといわれるのが粉菓子「玉兎」だ。糸屋は、彌彦神社にも奉納される「玉兎」を製造販売する老舗。写真は徳島の和三盆で作られた「めお兎(と)」(12袋入り箱1,200円)。

data 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦1281
9:00~17:00 不定休 Pなし
お問い合わせ先 弥彦銘菓 玉兎 糸屋 tel.0256-94-2072



きゅうたけいしけじゅうたく

旧武石家住宅

江戸時代の生活がうかがえる貴重な遺構

茅葺き屋根に土壁塗りが施され、新潟県内でも最も古いとされる古民家。弥彦村指定文化財でもある主屋にはザシキ、ネマ、チャノマ、ニワ(台所)の間取りが残り、江戸時代の農村の中層階級の暮らしぶりがうかがえる。味噌蔵、薪小屋は国の登録有形文化財。

data 新潟県西蒲原郡弥彦村麓7056
入館料:大人200円、子ども100円
9:00~16:30 月~金曜日休(祝日の場合は開館。12~3月は閉館) Pあり
お問い合わせ先 弥彦村教育委員会 tel.0256-94-4311

彌彦神社拝殿へ

POWERSPOT & CRAFTMANSHIP
弥彦・燕三条
YAHIKO TSUBAMESANJO

正しい作法で丁寧な参拝
基本は二礼四拍手一礼で

朱色塗りの一の鳥居をくぐって表参道を歩み、二の鳥居の石段を上ったその先に、随神門が見えてくる。その奥にあるのが、深緑の柱に囲まれた拝殿。その佇まいは実に神聖だ。いつ訪れても背筋が伸び、清々しい気持ちになれる。人々の拠り所として親しまれてきただけに、彌彦神社には五穀豊穰、商売繁盛、家内安全、交通安全、学業成就、良縁祈願など、さまざまな利益があるとされてきた。弥彦山の山頂にある御神廟には、天香山命(伊夜日子大神)と熟穂屋姫命(うましほやひめのみこと/妻戸大神)を奉祀していることか



上御神札、御守、御朱印は随神門左手の御神札授与所で授与 下彌彦神社での参拝は拍手を4回打つ「二礼四拍手一礼」を

ら、縁結び、夫婦円満の神様として若い世代の信仰も集めている。彌彦神社での参拝は二礼四拍手一礼が基本となる。その理由を権禰宜・高橋さんに尋ねると「実ははっきりとした理由は明らかになっていないのです。ですが、四拍手をすることでより丁寧に参拝の気持ちを表す作法として、代々の神職が伝えてきたのではないかとはいわれています」。また、忘れてはならないのが、拝殿の脇に9つある摂社・末社。ここには天香山命の子孫や所縁がある神々が祀られている。悠久の歴史を紡いできた祖先の参拝もお忘れなく。

えちこいちのみや やひこじんじや

越後一宮 彌彦神社

data
新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦2887-2
見学無料 Pあり
お問い合わせ先
彌彦神社 tel.0256-94-2001



燕市産業史料館で できるものづくり体験



大人も子どもも楽しめる
色とりどりのスプーン製作

チタン製スプーン酸化発色

電流を流して酸化被膜を施すことで発色するチタン。これを応用したスプーンの色付け体験は子どもにも人気だ。色は24種類から選ぶことができ、単色やグラデーションもある。体験料はアイススプーン600円、コーヒースプーン800円、1回3~5分前後。



燕に古くから伝わる
鉋起銅器の技術を体験

純銅タンブラー鉋目入れ

一枚の銅板から器などを作り出す鉋起銅器。その工程のひとつで表面を金槌で叩く鉋目を行い、オリジナルのタンブラーを製作。ひたすら叩く作業は「無」になれる。体験は1回30分前後で、体験料はタンブラー 2,500円、ショットグラス 2,000円。

つばめしさんぎょうしょうかん

燕市産業史料館

400年受け継がれる、燕の匠の技に触れる

金属加工技術をはじめ、燕で作られてきた製品の歴史を紐解きながら紹介する史料館。人間国宝・玉川宣夫氏の作品から、煙管やカトラリーなど貴重なコレクションを展示。江戸時代から現代まで400年続く、燕市の地場産業を幅広く紹介する。体験工房館では鉋起銅器の鉋目入れやスプーンの酸化発色、錫のぐい呑みや小皿などの製作体験もできる。

data 新潟県燕市大曲4330-1
入館料:大人400円、小中学生、高校生100円
9:00~16:30
月曜定休(祝日の場合は翌日) Pあり
お問い合わせ先 燕市産業史料館
tel.0256-63-7666



上 過去に実際に使われていた道具の数々 下 燕市産業史料館本館2階「ツバメの金属工芸 銘品ギャラリー」では、美術工芸品としての側面を持つ鉋起銅器の美の世界を紹介



上 洋食器製造の基礎となった木のスプーン型。鉋起銅器の技術が大いに生かされた 下 新館の「ものづくり発見室」。世界に誇る金属加工技術を視覚化して展示

過酷な風土が原点 金属産業を広めた技術の昇華

「洋食器や金物の町」。燕、三条という、そう言い表されることが多い。互いに金属加工で栄えた町ということは確かだ。しかし、一括りにしてしまうには惜しいほどの技術の進化、職人たちの気概が、現代の金属産業に通じている。その道のりは決して一筋縄ではなかったのだ。

三条の金属加工の始まりは、江戸時代初期までさかのぼる。今でこそ米の一大産地といわれる新潟だが、当時の燕三条近郊は信濃川とその支流が毎年のように氾濫し、決して稲作に適した環境とはいえなかった。河川の氾濫が続くなか、江戸から釘鍛冶の技術が伝わり、農民たちの間に広まったといわれるのが「和釘」作り。一方、間瀬銅山が開発されて銅を得られるようになってからは、鉋起銅器の製造も行われるようになり、その技術を応用した鉋(ヤスリ)や煙管(キセル)などが作られるように。燕の鉋起

ものづくりの町 燕三条の歴史

学芸員
齋藤優介さん

Yusuke Saito

燕市産業史料館主任学芸員。燕市出身。燕市の産業史、伝統工芸に造詣が深く、産業文化を深掘りする数々の企画展示を立案。最近では金属加工産業の企業・技術のマッチングサイト、FACTARIUMのコンシェルジュも務める



銅器はやかんや鍋などの生活用品としての広まりを見せ、その技術は第一次世界大戦中に国外より依頼を受けたスプーンやフォークなどの洋食器製造、後には包丁といった刃物の製造にもいかされている。さらに三条は河川を利用した物流が栄え、商人の町としての発展も遂げた。

現在、国内に回るスプーンの90%はメイドイン燕だ。そこに上り詰めた背景には、一度落ちては這い上がり、何度となく金属加工技術を昇華させてきた歴史がある。「この産業を絶やしてはならない」という生き残りかけた職人たちの精神そのものが、ものづくりの原点になっているのだ。「燕三条のものづくりは、それぞれが持つ高い技術を独占することなく共有し、足りない部分もそれぞれの技術で補ってきました。現在でもエンドユーザー向けの製造だけでなく、企業間で互いの製造を担う部品や機械加工の技術が日々進化しています。外からの技術を持ち込むだけでなく、地場で行う一貫したものづくりで互いの情報や技術をキュレーションし、ものづくりの町の文化を受け継いできたのです」と燕市産業史料館・学芸員の齋藤さん。

この壮大な歴史を後世に語り継ぐと、燕市では燕市産業史料館を1973年に設立。以来、金属産業をさまざまな観点から切り取ったものづくりの歴史を紹介するとともに、ものづくり体験も随時行う。金属産業の歴史、魅力を余すことなく堪能してみてください。

職人の技と魅力を身近に
五感で感じるものづくり

燕、三条で金属や機械加工に携わる工場は約4000社。最近では、ものづくりの一端に触れてもらおうと、工場内の製造工程や作業風景を見学できるオープンファクトリーへの取り組みが盛んに行われている。2013年から工場見学の一大イベント『燕三条工場の祭典』を開催。国内外に向けてものづくりの現場の魅力を発信中だ。

オープンファクトリーの醍醐味は、なんとといっても迫力ある作業風景。それぞれの工場にはものづくりの過程で生まれる音や匂い、ひたむきに生き生きと作業に向き合う職人たちの姿がある。工場の開放は、若い職人の育成や地域の子どもたちへの教育、さらにもものづくりを次世代に伝える機会にもなっているという。

現在、常時13社がオープンファクトリーを実施。燕の産業の基盤を築いた鉋起銅器を製造する玉川堂、洗練されたデザインのつめ切りが話題の諏訪田製作所、高品質な刃物を一貫生産する藤次郎のほか、なかには作業体験や製品購入ができる工場もある。各社とも見学時間や休業日が異なり、団体の場合は事前に申し込みが必要になる場合もあるため、確認してからお出かけを。



- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| | | 4 |
- 1 製造工程の最終段階、鉋で刃と刃が隙間なく閉じるよう削って調整する「合刃」 2 ガラス越しに職人たちの様子を見学できる。通路には廃材で作られた照明が飾られている 3 抜群の切れ味を誇るつめ切り 4 さまざまな粗さのサンドペーパーを使う研磨・研削作業

営業部 大橋鈴実さん
Suzumi Oohashi

「金属の状態を確認しやすくするため、工場内全ての色を黒で統一しています」



すわだせいさくしょ

諏訪田製作所

「切る」に特化し、機能と美しさを追求

つめ切りや盆栽用ハサミなど、90年以上に渡って切れ味の良さに徹底的にこだわったものづくりを行う。部品加工から研磨、仕上げと職人たちの手作業の様子を間近で見学できる。製作工程で出る廃材を使った照明やアートは見応えあり。見学後は社員食堂・RESTAURANT CUIQUIRITやCAFE Smiths'でひと休みを。

data 新潟県三条市高安寺1332
見学無料
10:10~12:10 / 13:00~17:00
日・月曜、祝日定休
Pあり
お問い合わせ先 諏訪田製作所
tel.0256-45-6111



ぎょくせんどう

玉川堂

職人の技が生む唯一無二の鉋起銅器

200年以上の歴史を持つ鉋起銅器製造の老舗。工場内には木槌や金鉋、鳥口といわれる鉄の棒など独自の道具が並び、打ち起こしや打ち絞りといった作業を経て、一枚の銅板がさまざまな銅器に形作られていく様子を垣間見られる。仕上げ均(なら)しや彫金、着色など、工芸品としての美しさに磨きかける作業も必見だ。

data 新潟県燕市中央通2-2-21
見学無料
(5名以上で見学の場合や旅行会社の方は事前に問い合わせを)
10:00~、11:00~、
13:00~、14:00~、15:10~
日曜、祝日定休 Pあり
お問い合わせ先 玉川堂
tel.0256-62-2015



玉川堂燕本店
店长 白鳥みのりさん
Minori Shiratori

「人の手で使われることで深まる銅器の色と艶を体感していただきたいです」

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| | | 4 |
- 1 皿状に打ち起こした銅板を叩き、器の口径を縮めていく打ち絞り
2 鍛金場と店舗は国登録有形文化財 3 「硫化漬け」と呼ばれる着色作業。工程の違いによって9色の色彩を銅器に施す 4 店舗では鉋起銅器の製品を販売



とうじろうオープンファクトリー

藤次郎 オープンファクトリー

切れ味にこだわる包丁メーカー

包丁の基本となる「切れ味の良さ」ととことんこだわり、家庭用からプロ仕様まで数千種類もの包丁を製造販売。量産品を製造するプレス技術による「抜き刃物」、刀鍛冶伝統の鍛造による「打ち刃物」と2種類の異なる製法を見学できる。併設のナイフギャラリーでは、製品の購入が可能。

data 新潟県燕市吉田東栄町9-5
見学無料
10:00~17:00
日曜、祝日定休
Pあり
お問い合わせ先
藤次郎オープンファクトリー
tel.0256-93-4195



1 材料を叩くことで強く鍛えていく鍛造作業 2 仕切りのガラスや壁もなく、職人と同じものづくりの空気を味わえる 3 包丁の切れ味を左右する最終仕上げも全て手作業 4 ナイフギャラリーには800種類もの包丁が並ぶ

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| | | | |



GOSEN CITY Culture Tourism 食
こいりょうり
06 鯉料理



自然豊かな山の恵みが育んだ郷土料理
透き通った清水で育てられた鯉を使った料理を堪能

五 泉市村松地区では昔から鯉を食べる文化がある。田上町と五泉市を結ぶ大沢峠に佇む明治13年創業の「亀徳泉」では、湧き水を張った池に1週間以上放ち、身を引き締めた鯉を使った料理を提供。鯉のあらいはもちろん鯉のうま煮や鯉こくなどを頂ける。こちらで鯉のおいしさに開眼する人も多い。

data
【亀徳泉】
新潟県五泉市刈羽乙1360
tel.0256-57-2971
11:00~18:00
(18:00以降は予約により営業)
火休(祝の場合は営業)
席数28
Pあり

GOSEN CITY Culture Tourism 生活文化
ラポルテごせん
05 ラポルテ五泉



五泉の魅力や芸術文化に触れられる
憩いと賑わいの交流拠点複合施設

「生 涯学習エリア」「産業振興エリア」「共用エリア」の3つの機能を併せ持つ複合施設。五泉市が世界に誇るニット、地元野菜や特産品を販売する産直ショップやカフェテリアなどがある。木造建築を生かしたネット遊具などを備えた「子どもの遊び場」は、天気を気にせず1日中遊ぶことができる。

data
新潟県五泉市赤海863
tel.0250-41-1612
9:00~22:00
(一部トイレは24時間利用可)
無休
Pあり

GOSEN CITY Culture Tourism 自然・環境
おおさわしょうにゆうどう
03 大沢鍾乳洞



地下へ向かう石階段にドキドキワクワク
長靴と懐中電灯を用意して鍾乳洞探検へ

日 本にある鍾乳洞の多くが数億年前の石灰岩という硬い岩石の中に形成されているが、ここは新しい地層の中にできた全国的にも珍しい鍾乳洞。石階段を下りて電灯のない真っ暗な鍾乳洞内を進む。昔はたくさん見られたという鍾乳石だが現在は天井や壁にわずかに見ることができる。

data
新潟県五泉市刈羽
字大沢乙1195
tel.0250-43-3911
(五泉市商工観光課)
※冬季は積雪状況によって中に入れない場合あり
Pあり

GOSEN CITY Culture Tourism 史跡・建造物
こやすえんめいじどうそん
01 子安延命地藏尊



無病息災と安産祈願を願う人が訪れる
子どもを抱える姿が愛らしいお地藏さま

粟 島公園内に安置された五泉市指定有形文化財。やさしい表情や子どもを抱えている姿から「子安のお地藏様」と呼ばれ親しまれている。約160年前に日本に三休といない地藏尊を建立する「六十六部の誓い」によって、土倉山(現在の加茂市)から掘り出した大石で造られている。

data
新潟県五泉市粟島1-22
tel.0250-42-5195
(五泉市教育委員会 生涯学習課)
Pあり

GOSEN CITY Culture Tourism まつり・イベント
かんくのみずくみ
07 寒九の水汲み



日本酒の仕込み水を求めて冬の菅名岳へ
1992年から続く五泉の冬の風物詩

1 年で1番、水が澄む日と伝わる「寒の入り」から9日目(寒九)に、雪の積もる菅名岳の中腹にあるどっばら清水まで登り、山から湧き出る水を汲んで往復約3時間の山道を運ぶ。清水は五泉市にある近藤酒造で造られる『清酒 菅名岳』の寒仕込みの仕込み水として使用される。

data
毎年1月中旬開催
会場:菅名岳
(新潟県五泉市小山田地内)
問:越後泉山会事務局
(近藤酒造)
tel.0250-43-3187

FOCUS

近藤伸一さん
●近藤酒造 代表取締役社長

8代目蔵元。20代から蔵に入り酒造りや営業職を経験し2001年から社長に。日本酒は冷やが好き

「日本酒好きの方なら、『寒九の水汲み』という行事名を知っている方も多いかも知れません。いいお酒を造るには、何よりいい水が大事。標高900メートルの菅名岳から湧き出る天然の軟水は酒造りに最適なのです。1年でもっとも寒い時期に雪深い山に登って水を汲むというのは大変な作業。にもかかわらず、日本酒好きの方々が楽しみながら参加して下さるのは本当にありがたいこと。それに応えて、おいしい日本酒を造るのが私たちの使命なのです」

GOSEN CITY Culture Tourism 自然・環境
びはだのゆ さきはなおんせん
04 美肌の湯 咲花温泉



新潟県下でも豊富な湯量を誇る咲花温泉郷
エメラルドグリーンの湯でツルツル美肌に

景 勝・阿賀野川ラインのほとりに7軒のお宿がある咲花温泉郷。新潟県下でも有数の豊富な湯量を誇る。エメラルドグリーンのお湯は、弱アルカリ性、硫黄泉、硫酸塩泉と美肌効果抜群の泉質だ。加盟旅館にて日帰り入浴券「湯めぐり手形」の購入で7つの宿から3回の入浴を楽しむことができる。

data 新潟県五泉市佐取問:咲花温泉旅館協同組合 加盟各旅館
(一水荘 tel.0250-47-2231、碧水荘 tel.0250-47-2011、佐取館 tel.0250-47-2211、望川閣 tel.0250-47-1000、ホテル平左衛門 tel.0250-47-2321、ホテル丸松 tel.0250-47-2331、柳水園 tel.0250-47-2121)

GOSEN CITY Culture Tourism 自然・環境
むらまつこうえん
02 村松公園



満開の桜を楽しめるお花見スポット
五泉の桜から作られた製品をお土産に

約 3,000本の桜が並び、「日本さくら名所100選」にも選ばれたお花見の名所。園内には子どもが遊べる遊具や展望台もある。隣接する「ごせん桜アロマ工房」は五泉の八重桜から抽出した天然エキスをを使った化粧品やアイスなどを製造・販売。カフェと休憩スペースを備えた観光拠点となっている。

data
新潟県五泉市
愛宕甲2631-1
tel.0250-43-3911
(五泉市商工観光課)
Pあり(観覧期は有料)



AGA TOWN Culture Tourism オニグルミ 13 オニグルミ 食



日本最古のクルミの在来種「オニグルミ」その名の通り鬼のように硬くゴツゴツした殻が特徴

阿賀の山間に多く自生するオニグルミは、地元で長年にわたって親しまれてきた食材。そんなオニグルミを使用した製品を販売しているのが「パンとおやつ 奥阿賀コンビリー」。人気商品『鬼ぐるみのグラノーラ』をはじめ、焼菓子などにオニグルミがふんだんに使われている。

data 【パンとおやつ 奥阿賀コンビリー】新潟県東蒲原郡阿賀町津川3668 tel.0254-92-7100 10:00~17:00 火水休 席数16 Pあり

AGA TOWN Culture Tourism みかわかんこうきのこえん 12 三川観光きのこ園 食



阿賀の大自然の中できのこ狩り体験！秋の味覚を十分に堪能できるスポット

広大な自然の中で手軽にきのこ狩りを楽しめる施設。旬となる10月になると、マイタケやヒラタケなど、約8種類のきのこが収穫可能となる。施設内にある展望台大食堂「きのこの館」では、きのこ汁やきのこの天ぷらなど、旬のきのこを使った料理を提供。バーベキュースペースもある。

data 新潟県東蒲原郡阿賀町吉津3520 tel.0254-99-3773 9:00~16:30 開園期間(4~12月第1日曜)は無休 入場無料 Pあり

AGA TOWN Culture Tourism たきがしらしつげん 10 たきがしら湿原 自然・環境



全国的にも珍しい人工的に作られた湿原 プナの森と湿原の豊かな自然を散策しよう

かつて滝首集落の水田だった跡地に作られた湿原。人工の湿原でありながら、豊かな森に囲まれて四季折々の湿生植物やそこに生息する動鳥類などを観察できる。景観が美しいことから写真家にも好評のスポットだ。初夏には夜間ゲートが解放されホテルが群舞する姿を見ることができる。

data 新潟県東蒲原郡阿賀町七名3267-1乙 tel.0254-92-5764 (阿賀町農林課) 8:30~16:30 (11月は~16:00) 開園期間(4月下旬~11月末)は無休(管理棟のみ火曜閉館) 入場無料 Pあり

GOSEN CITY Culture Tourism ごせんしさといもまつり 08 五泉市さといもまつり まつり・イベント



五泉の特産さといも「帛乙女(きぬおとめ)」芋掘り体験や、さといも汁で五泉の秋を満喫!

きめ細かな白肌と独特のぬめりが特徴の五泉のさといも「帛乙女(きぬおとめ)」。新潟県内で唯一、国の指定産地である五泉市は10月第2日曜日を「さといもの日」と制定し、まつりを開催。さといも掘り体験や、さといも汁と新米おにぎりの販売、さといもの即売会などが行われる。

data 毎年10月第2日曜開催 会場:新潟県五泉市三本木 地内 問:五泉市農林課 tel.0250-43-3911

AGA TOWN Culture Tourism みがきにしんのこうじづけ 14 身欠きにしんの糍漬 生活文化



1年以上かけて作る阿賀町の伝統食 時間をかけて発酵させることで濃厚な味わいに

阿賀町では正月料理としても親しまれている「身欠きにしんの糍漬」。丁寧に下ごしらえした身欠きにしんを、冬場に糍と天日塩に1カ月ほど漬ける。糍を落とさずにそのまま食べてもいいし、軽く炙ってもおいしい。阿賀町にある創業明治元年の老舗「山崎糍屋」にて販売している。

data 【山崎糍屋】新潟県東蒲原郡阿賀町津川452 tel.0254-92-2030 9:00~18:00 毎月6・16・26日定休(土日祝の場合は営業) Pあり

FOCUS

山崎京子さん
●山崎糍屋 女将

老舗糍屋の名物女将として店に立つ。糍作り教室やテレビ動画などで糍の魅力を発信している

「阿賀町・津川は夏と冬の寒暖の差が激しく、糍造りに適した気候です。また、厳しい冬を乗り越えるために食料を長期保存できる糍をいかした独特の発酵文化が発達しました。糍漬に使っている糍は、明治元年から販売している看板商品『生黄糍』。熱に強く、ひと煮立ちさせても糍菌が死なないため『生きた糍』ともいわれ、一般的な白糍よりも高い健康効果が期待できます。ぜひ阿賀町・津川で糍の力を体験していただき、体の中から健康になってください」



AGA TOWN Culture Tourism あかのがわラインゆうらんせん 11 阿賀野川ライン遊覧船 自然・環境



川から眺める奥阿賀の四季と絶景 阿賀野川ラインの変化に富んだ渓谷を巡る

道の駅 阿賀の里から発着する船による約40分の遊覧コース。ジェット船「イザベラ・バード」号で阿賀野川ラインの自然を巡る。雄大な阿賀野川の自然に四季折々の景色が彩りを添える。新緑や紅葉はもちろん、冬の雪見船もお薦め。船頭さんによるトークも楽しみのひとつ。

data 新潟県東蒲原郡阿賀町石間4301 tel.0254-99-2121 (道の駅 阿賀の里) 9:00~15:00(運航時間) 無休(天候等による欠航あり) 乗船料:大人2,000円、小人1,000円 Pあり

AGA TOWN Culture Tourism しょうぐんすぎ 09 将軍杉 自然・環境



国の天然記念物に指定された巨木 生命力あふれる大迫力の一本杉

四方に太い枝を伸ばした将軍杉は、樹齢推定1,400年、幹周19.31メートル、樹高約38メートルの巨木。余吾将軍平維茂を葬る際の標木であると言われていた。平成12~13年に環境省が行った調査では、あの鹿児島県屋久島の縄文杉を抜いて「日本一の杉巨木」と認定された。

data 新潟県東蒲原郡阿賀町岩谷 tel.0254-99-2639 (落書庵) Pあり



SANJO CITY Culture Tourism 21 真宗大谷派 三条別院 史跡・建造物



「御坊さま」と呼ばれ親しまれてきた名刹 お寺のartを堪能できるツアーも人気!

1 690年創設の浄土真宗 大谷派の寺院。寺の門前に三条市内の繁華街があり、地域の交流の場として親しまれてきた。毎月28日に開催する『本堂大解剖ツアー』では、普段はなかなか見ることのできない本堂の中をお坊さんの解説付きで巡る。欄間や襖絵、建築などお寺のartを堪能できる。

data 新潟県三条市本町2-1-57 tel.0256-33-0007 Pあり

SANJO CITY Culture Tourism 22 朝の定期市 生活文化



早起きして出かけたい地元の朝市 売り手と会話しながらの買い物楽しい

6 00年余の歴史がある朝市で、三条市内4か所で開催されている。毎月末尾に2と7が付く日の『二・七の市』と、毎月末尾に5と0が付く『五・十の市』があり、店ごとに新鮮野菜や魚介類、乾物などが並ぶ。

data 【中央市場】毎月2・7の付く日に開催(ただし1月2日は休)会場:新潟県三条市元町 【四日町市場】毎月5・10の付く日に開催(ただし1月5日は休)会場:新潟県三条市四日町 【八幡小路市場】毎月2・7の付く日に開催(ただし1月2日は休)会場:新潟県三条市八幡町 【島田・由利市場】毎月2・7の付く日に開催(ただし1月2日は休)会場:新潟県三条市島田 問:三条市営業戦略室 tel.0256-34-5511

SANJO CITY Culture Tourism 19 三条鍛冶道場 産業



現役鍛冶職人の指導による鍛冶体験 金物の町・三条のものづくり精神を伝える

伝 統的な鍛冶仕事を体験できる全国的にも珍しい施設。伝統の和釘作りや五寸釘を打って制作するペーパーナイフ作り体験ができる。ベテラン鍛冶職人の指導を受けながら、「ねじる・削る・磨く」という一連の工程を体験してみよう。経済産業大臣指定の伝統的工芸品「越後三条打刃物」の展示も必見。

data 新潟県三条市元町11-53 tel.0256-34-8080 9:00~17:00 (受付は~15:30) 月休(祝の場合は翌日) 入館無料(別途体験料金必要。体験により料金異なる) Pあり

SANJO CITY Culture Tourism 20 漢学の里 諸橋轍次記念館 史跡・建造物



「大漢和辞典」を編纂した諸橋轍次博士 貴重な資料から生家・庭園も見学できる

新 潟県下田村(現三条市)生まれの諸橋轍次博士は儒学を研究し、「大漢和辞典」編纂を成し遂げた。記念館には、博士の遺品・遺墨、大漢和辞典関係の資料展示のほか、「漢字でのひらクイズ」「漢字サークルビジョン」などでも楽しめる。敷地内に併設する生家からの下田の風景も観ておきたい。

data 新潟県三条市庭月434-1 tel.0256-47-2208 9:00~17:00 (入館は~16:30) 月休(祝の場合は翌日) 入館料:一般(高校生以上)500円、小中学生200円 Pあり

SANJO CITY Culture Tourism 17 道の駅 燕三条地場産センター 産業



世界に広がるメイド・イン・燕三条 伝統と最先端の技術を活かした逸品を発信

物 産館内に並ぶのは、燕三条の鍛冶職人たちが作った包丁、洋食器、キッチン用品、鍋。世界的ブランドに飛躍した「ものづくりのまち燕三条」の逸品約10,000点を産地価格で提供する。併設するレストラン「燕三条Bit」では、燕三条産のテーブルウェアを体感できる。

data 新潟県三条市須頃1-17 tel.0256-32-2311 9:30~17:30 第1水休 Pあり

SANJO CITY Culture Tourism 18 八木ヶ鼻 自然・環境



岩肌の迫りに圧倒される下田郷のシンボル 新緑、紅葉、雪景色と彩りを変える絶景

五 十嵐川の上流にそそり立つ、高さ200メートル以上の石英粗面岩の壁。切り立つ岩肌は自然に囲まれ、春は新緑、秋には紅葉、冬は雪景色とともに雄々しい景観を見せてくれる。ハヤブサ繁殖地として県の天然記念物に指定され、さらにその素晴らしさから「にいがた景勝100選」にも選ばれている。

data 新潟県三条市北五百川 tel.0256-34-5511 (三条市営業戦略室) Pあり

AGA TOWN Culture Tourism 15 御神楽温泉 プナの森に 囲まれた一軒宿 小会瀬 自然・環境



ブナ林に囲まれた野趣あふれる露天風呂 打ち立てそばと山の幸でおもてなし

ブナの森に囲まれた閑静な宿。ブナ林にある薬草の露天風呂は貸切可。テントサウナは通年利用可。山菜やきのこ、川魚など地元で採れた食材をふんだんに使った料理を堪能できる。ヴィーガン対応あり。職人が地元産そば粉で作る十割そばも好評だ。予約制でそば打ちの見学・体験もできる。

data 新潟県東蒲原郡阿賀町広谷乙2091-1 tel.0254-95-3535 チェックイン15:00/チェックアウト10:00 Pあり

AGA TOWN Culture Tourism 16 絵かきの宿 福泉 自然・環境



飯豊連邦と阿賀野川の絶景を一望できる 閑静な湖畔の宿で非日常のくつろぎを

すべての客室と露天風呂、大浴場から飯豊連峰と阿賀野川の絶景を一望できる麒麟山温泉の宿。阿賀野川の清流を眺めながらの入浴は、川の流れに身をまかせられる心地良さ。夜は岸辺がライトアップされ幻想的な景色に。旬の味覚を取り入れた料理も魅力だ。

data 新潟県東蒲原郡阿賀町鹿瀬5886 tel.0254-92-3131 チェックイン15:00/チェックアウト11:00 Pあり



TSUBAME CITY Culture Tourism 29 国上寺 史跡・建造物



多くの参拝者が訪れる上杉謙信公の祈願寺 良寛ゆかりの石碑や庵もぜひ拝観を

国上山の中腹にある、709年創建の新潟県内最古の名刹。境内には本堂をはじめ、良寛が18年隠棲した五合庵、方丈講堂、六角堂、一切経蔵、宝物殿など重厚な建物が建ち並ぶ。方丈講堂に安置されている木造千手観音菩薩立像は県の有形文化財に指定されている。

data 新潟県燕市国上1407 tel.0256-97-3758 9:00~16:30(拝観時間) 宝物殿拝観料300円 Pあり

TSUBAME CITY Culture Tourism 30 五合庵 史跡・建造物



五合庵から千眼堂吊り橋を渡って 良寛ゆかりの地・国上を訪ねる

各地での厳しい修行を終えた良寛が、47歳頃からの最盛期を過ごしたとされる草庵。明治39年の大雪で倒壊したが、大正3年に再建され、現在の姿にいたる。五合庵と展望台を結ぶ長さ124メートルの千眼堂吊り橋は「新潟の橋50選」に選ばれている。四季折々の雄大な自然を眺めながら渡りたい。

data 新潟県燕市国上1407 tel.0256-97-3758 (国上寺) Pあり

SANJO CITY Culture Tourism 27 車麩 食



日本一のシェアを誇る三条の車麩 もっちり滑らかな食感を楽しめる

車麩は、グルテンと強力粉を合わせた生地を専用の棒に巻いては焼き、巻いては焼きを繰り返すことで木の年輪のような断面ができる。三条の車麩の特徴は生地を4回巻いて焼くこと。もっちりとした食感で低カロリーなのに食べ応えあり。煮物や鍋、おでん、すき焼きなどにどうぞ。

data 問:三条市営業戦略室 tel.0256-34-5511

TSUBAME CITY Culture Tourism 28 燕市磨き屋一番館 産業



工場見学やものづくりの歴史を学びながら 燕市の研磨技術を見て、触れて、体感する

400年の伝統を誇る金属加工のまち・燕市で、金属加工の工程でもっとも重要な磨きの技術を次世代に伝える施設。工場内の見学と研磨作業体験がセットになっており、高速回転する研磨機にタンブラーを当てて、ピカピカに仕上げた研磨技術を職人から指導してもらえる。

data 新潟県燕市小池3633-7 tel.0256-61-6701 8:30~17:30(見学・体験は9:30~12:00/13:30~16:00) 土日祝休 工場見学無料(体験講座は有料。どちらも予約制) Pあり

SANJO CITY Culture Tourism 25 いい湯らてい 自然・環境



八木ヶ鼻を一望できる絶景の露天風呂 大自然との一体感が癒やし効果抜群

景色が評判の日帰り入浴施設。雰囲気異なる「数寄の湯」と「和楽の湯」は男女日替わり。こちらの露天風呂も「にいがた景勝100選」に選ばれた八木ヶ鼻と眼下を流れる五十嵐川を借景のように取り込み、大自然と一体となった解放感を楽しめる。露天風呂のほかにもジェットバスやサウナも完備。

data 新潟県三条市南五百川16-1 tel.0256-41-3011 10:00~21:00(入館受付~20:15) 第3水休(祝の場合は翌日) 入浴料:大人900円、小学生600円 Pあり

SANJO CITY Culture Tourism 26 三条カレーラーメン 食



新潟5大ラーメンのひとつで三条人のソルフード 今では70以上の店舗でメニューとして提供

三条市の職人たちに愛されてきたご当地グルメ。カレーラーメンの老舗でもある「大衆食堂 正広」で味わえるのは、大きめに切った野菜と、豚肉が入ったカレーラーメン。トロツとしたカレーが麺の上にとっぷりのっている。お店によって提供内容は異なるので、お店との違った味を楽しんでみて。

data 【大衆食堂 正広】 新潟県三条市石上2-13-38 tel.0256-31-4103 11:00~14:30(金土日は11:00~14:30/17:00~21:00) 月休 席数86 Pあり

SANJO CITY Culture Tourism 23 道の駅 庭園の郷 保内 生活文化



花や庭木、緑と出会う憩いのスペース 植木・園芸・造園のまちならではの道の駅

園やガーデニングを楽しめる道の駅は、四季を通じて植物を楽しめる憩いのスペースとして、今や三条市の新名所となっている。ガーデニング雑貨や地元物産品販売のほか、ワークショップの実施や、園芸植物見本園では庭園散策もできるので一日中楽しめる。敷地内にはレストランやカフェも併設。

data 新潟県三条市下保内4035 tel.0256-38-7276 9:00~18:00(冬季は~17:00) 不定休(月1回程度。冬季は火休) Pあり

SANJO CITY Culture Tourism 24 越後長野温泉 妙凛和楽 嵐渓荘 自然・環境



三条市下田地域の大自然を堪能しながら 山里の四季折々の匂いを味わえる秘湯の宿

雄大な自然に囲まれた秘湯一軒宿。創業者が掘り当てた温泉は強食塩冷鉱泉で「妙の鉱泉」と呼ばれ湯治湯として利用されていた。純和風な建物は国の登録有形文化財になっており、その居心地の良さに多くのファンが何度となく足を運ぶ。料理は山菜を中心に地物の食材を多く取り入れている。

data 新潟県三条市長野1450 tel.0256-47-2211 チェックイン15:00/チェックアウト10:00 Pあり



KAMO CITY Culture Tourism かもやまこうえん 36 加茂山公園



市街地にありながら静かでのんびりした空間 レジャーにアート、自然も満喫できる

加茂の鎮守社である青海神社を中心に森に囲まれた都市型公園。広い園内には彫刻の森や木々の中を滑り降りる大型ローラスライダー、かわいいシマリスがいるリス園などのスポットがあり、家族連れや観光客で賑わう。春は桜と同時に雪椿の花見、秋は紅葉と四季の移ろいを感じながらくつろげる。

data 新潟県加茂市大字加茂228 tel.0256-52-0080 (加茂市建設課) リス園は10:00~16:00 リス園は月休 (祝の場合は翌日。冬期休園) Pあり

KAMO CITY Culture Tourism あおみじんじや 37 青海神社



拝殿までの長い階段に凛とした空気感が漂う 加茂山に鎮座する「加茂のお明神さま」

加茂市を中心に、三条市、田上町などの一帯の総鎮守として726年に創建。拝殿奥には京都の上賀茂神社と下鴨神社の神様が祀られ、子授け・安産をはじめ、ご利益を授かるパワースポットとしても人気だ。美しい鶯音が響く、鶯張りの廊下は本殿とともに加茂市指定文化財となっている。

data 新潟県加茂市大字加茂229 tel.0256-52-0671 9:00~16:00(祈祷時間) Pあり

TSUBAME CITY Culture Tourism かまめし 34 釜飯

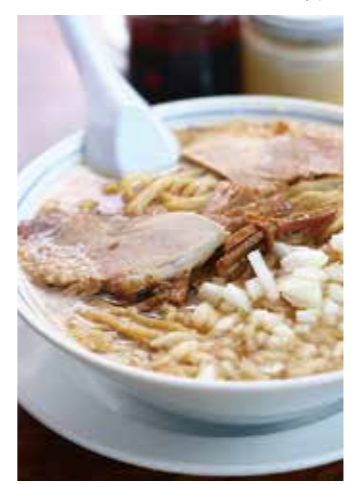


昭和30年代から燕市に根付いた 多くの市民に愛されるソウルフード

燕市では昔からハレの日に釜飯を食べる風習があり、当時、地元の社長たちが広めたと言われている。昭和34年創業の「釜めし松月」はその発祥店。こちらで提供する釜飯は食材のうまみをいかしたもののばかりで、おいしさはもちろん食べごたえ満点。約10種類揃う定番のほか、季節限定の釜飯も登場する。

data 【釜めし松月】 新潟県燕市桜町227 tel.0256-62-4075 11:00~14:00 / 17:00~21:00 月休 席数70 Pあり

TSUBAME CITY Culture Tourism 35 背脂ラーメン



背脂がたっぷりのった強烈なビジュアル！ 職人文化とともに育ったラーメン

背脂ラーメンは、工場が建ち並ぶ燕・三条エリアで働く職人のために、背脂を加え冷めにくいようにしたのが始まりだとか。発祥と言われている「杭州飯店」では、ガツンと煮干しが香る醤油味に大量の背脂、うどんのような極太麺を組み合わせたラーメンを提供。その味は半世紀以上にわたり継承されている。

data 【杭州飯店】 新潟県燕市燕49-4 tel.0256-64-3770 11:00~14:30 / 17:00~20:00 (土日祝は11:00~20:00。スープなくなり次第終了) 月休(月2回火不定休) 席数75 Pあり

TSUBAME CITY Culture Tourism つばめあおぞらそくばいかい 32 燕青空即売会



お気に入りのキッチンアイテムが見つかる！ 燕の名品が揃う、年に一度のビッグバザール

毎年10月の第1日曜日に開催される、年に一度のビッグバザール。金属加工の町・燕市自慢の金属洋食器をはじめ、鍋、フライパン、包丁などの台所用品や家庭雑貨、伝統的工芸品としても有名な茶筒などの鋳起銅器製品まで、当日限りの特別価格で販売するイベントだ。

data 毎年10月第1日曜開催 会場:燕市物流センター地内(新潟県燕市物流センター1-15) 問:つばめ物流センター tel.0256-63-7660

TSUBAME CITY Culture Tourism おおこうづぶんすい 33 大河津分水



越後平野に恵みをもたらした信濃川と 大河津分水の歴史と役割を知る

越後平野を水害から守り、生活や農業に必要な水量をコントロールしている大河津分水。その歴史を学べる「信濃川大河津資料館」は、1・2階は常設展示室、3階は情報ライブラリー、4階は信濃川や大河津分水を見渡せる展望室となっている。分水の役割について楽しく学んでみよう。

data 【信濃川大河津資料館】 新潟県燕市五千石 tel.0256-97-2195 9:00~16:00 月休(祝の場合は翌日) 入館無料 Pあり

TSUBAME CITY Culture Tourism しぜんとあそぶみちのえき ソライロくがみ 31 SORAIRO国上



良寛の歴史や酒吞童子伝説が伝わる国上山の麓 温泉施設を揃えたアウトドアと癒しのスポット

「自然と遊ぶ道の駅」をコンセプトに、産直野菜や地元の名産を味わう「食」、バーベキューやデイキャンプでアクティブに楽しむ「遊」、足湯や天然温泉でゆったり過ごす「癒」を備えた施設。国上山を眺めながら多種多様に揃うこだわりのグルメも堪能できる。

data 新潟県燕市国上5866-1 tel.0256-98-0770(道の駅売店・食堂)、tel.0256-97-1755(てまりの湯) 313ファーマーズマーケット10:00~18:00、てまりの湯10:00~21:00、足湯テラス10:00~17:00(足湯は~18:00)、食堂11:00~16:00、手ぶらBBQ・デイキャンプ11:00~17:00 無休(てまりの湯は第2・4月休) 席数80 Pあり

FOCUS

樋口 勲さん ●Love River Net代表 大河津分水の役割や魅力を発信する団体、Love River Netの代表。趣味は川や海の写真撮影



「今こそ新潟は『米どころ』と言われてますが、大河津分水ができるまで、越後平野は3年に1度のペースで水害に襲われ、貧しい米しかとれませんでした。1907年、新潟県民の悲願であった、山を切り拓いて日本海に洪水を流す大河津分水工事がスタートします。1922年に大河津分水が通水してから100年が経過しましたが、信濃川の堤防は一度も切れたことはありません。大河津分水の通水により新潟のあらゆる産業、交通網が発展し、今の新潟の礎を築きました」

TAGAMI TOWN Culture Tourism
 こまどうやま あじさいえん
44 護摩堂山あじさい園 自然・環境



夏の始まりを伝える青紫のグラデーション
 山頂からの景色に登山の疲れも癒やされる

標 高274メートルの護摩堂山は、登山口の遊歩道から山頂まで徒歩約40分。6月中旬から7月にかけて山頂にあるあじさい園とその周辺を約3万株のアジサイが彩る。青紫の美しいグラデーションとともに山頂から田園風景や弥彦山、角田山、晴れた日には佐渡まで見渡すことができる。

data 新潟県南蒲原郡田上町大字田上 tel.0256-57-6225 (田上町産業振興課) Pあり

TAGAMI TOWN Culture Tourism
 そうとうしゅう とうりゅうじ
45 曹洞宗 東龍寺 史跡・建造物



樹齢700年の2本の大杉が迎えてくれる
 護摩堂城主の菩提寺

護 摩堂山の入り口にある曹洞宗の寺院。800年代に創建され、1332年に護摩堂城主・平賀宝山の外護を受けた。参道入口の2本の大杉は樹齢約700年。庭園も本堂とともに拝観することができる。隣接する湯田上温泉に宿泊すると「心の癒しの坐禅体験」を受けられる(体験希望は要問い合わせ)。

data 新潟県南蒲原郡田上町大字田上乙1374 tel.0256-57-3395 Pあり

KAMO CITY Culture Tourism
42 G.F.G.S. 産業



メイドイン加茂のボーダーカットソーで
 地元商店街の魅力を国内外に発信

完 全受注生産でボーダーカットソー「ORDER BORDER (オーダーボーダー)」を製造販売するファクトリーブランド。出版、音楽レーベル、クリエイターとのコラボレーションなど、オリジナルプロダクトも見逃さない。商店街の中にオフィスや工場を構え、地域の活性化&魅力を発信している。

data 新潟県加茂市本町3-12-1F tel.0256-46-8798

KAMO CITY Culture Tourism
43 Yama Cafe 食



築100年の歴史ある建物で
 くつろぎの時間を

加 茂市の老舗料亭「清雲亭山重」がプロデュースするカフェ。大正時代に建てられた町家づくりの空間でランチやお茶を楽しめる。人気の「和カゴ弁当」は季節の料理をいただける洗練された逸品。あんみつや夏季限定のかき氷など和スイーツも人気だ。リノベーションした酒蔵も併設されている。

data 新潟県加茂市仲町2-6 tel.0256-52-0104 11:30~17:00 月休(9~3月は月火休。祝の場合は翌日) 席数59 Pあり

KAMO CITY Culture Tourism
 でんとうきこうげいひん きりたんすのこうじょうけんかく
40 伝統的工芸品 桐箆笥の工場見学 伝統工芸



220年以上続く伝統産業・加茂桐箆笥の
 技を引き継ぐ熟練職人の手仕事を見る

江 戸時代中期から220年以上の伝統を受け継ぐ加茂桐箆笥。加茂市は全国生産シェアの7割を占める日本一の生産地だ。手作業による高い技術が認められ1976年に通商産業大臣(当時)より伝統的工芸品の指定を受けている。加茂市内外には13社の桐箆笥屋があり工場見学も可能。

data 問:加茂桐箆笥協同組合 tel.0256-52-0445

KAMO CITY Culture Tourism
 かもがみすきば
41 加茂紙漉場 伝統工芸



加茂紙の伝統技術を未来につなげる
 加茂産の原料を使った加茂紙作りに挑戦!

古 くから加茂の七谷地区で製造されてきた加茂紙。時代が進むにつれ紙漉き職人が途絶え、加茂紙の消滅を危惧した市が2011年に設立。現在は加茂市内で原料の楮(こうぞ)やつなぎのトロアオイの栽培も行っている。加茂紙漉場では製造から販売まで行っており、期間限定で加茂紙漉き体験もできる。

data 新潟県加茂市上町1-22 tel.0256-52-4184 9:00~12:00 / 13:00~16:00 土日祝休 見学、体験希望は要問い合わせ Pなし

KAMO CITY Culture Tourism
 かもなたにおんせん びじんのゆ
38 加茂七谷温泉 美人の湯 自然・環境



名峰・粟ヶ岳を望むロケーションと
 お肌がしっとりする美肌の湯に満たされる

名 峰・粟ヶ岳が最も美しく見える場所に建つ、絶好のロケーションの日帰り湯。「美人の湯」の名前の通り、濃度の高い源泉はぬるりとしてお肌がしっとりするので女性に好評だ。源泉湯に浸かりながら粟ヶ岳を眺めてゆったり過ごそう。夜は和紙を使った灯りの演出で幻想的な雰囲気を楽しめる。

data 新潟県加茂市宮寄上13-1 tel.0256-41-4122 10:00~21:00(受付は~20:30。食堂は11:00~L013:30 / 17:00~L019:30。土日祝は11:00~L019:30) 第2・4水休 入館料:大人800円、小学生300円(17:00~は大人600円、小学生200円。すべてタオルセット付き) Pあり

KAMO CITY Culture Tourism
 かもしていきろてんいちば(ろくさいいち)
39 加茂市定期露店市場 (六斎市) 生活文化

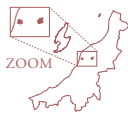


300年以上も続く歴史ある加茂の朝市
 朝5時から立つ市場には新鮮な野菜や魚などが並ぶ

江 戸時代初期から続いている歴史ある朝市。毎月4と9の付く日に開かれ、月に6回開催されていることから「六斎市」とも呼ばれている。加茂川沿い市街地の全長1キロメートルに約100店ほどの露店が軒を連ねる様は加茂の名物だ。毎年8月13日には「盆市」が行われ、一年でもっとも賑わいを見せる。

data 毎月4・9の付く日に開催 会場:新潟県加茂市中土手通り、番町駅前線、跨線橋側道、高札小路 問:加茂市商工観光課 tel.0256-52-0080





YAHIKO VILLAGE Culture Tourism **52** パンダ焼き



2010年開催のニッポン全国物産展でグランプリ受賞
白くもっちりとした食感が特徴の弥彦名物

国産米粉を用いた白くもっちりした生地であんこを包んだパンダの形をしたおやつ。弥彦の特産である「弥彦むすめ(枝豆)」を使った餡や小倉餡などの定番に加え、きんぴらごぼうやカレーといった曜日限定の味も登場する。弥彦公園近くの「分水堂菓子舗」にて販売。外壁に描かれたパンダのイラストが目印。

data
【分水堂菓子舗】
新潟県西蒲原郡弥彦村
弥彦1041-1
tel.0256-94-2282
9:00~16:00
水、第3木休
Pなし

YAHIKO VILLAGE Culture Tourism **53** 釜めし弥彦



地物食材を贅沢に使用した絶品釜めしを提供
パワーみなぎる『開運特上釜めし』は必食!

旬の食材と地元産コシヒカリをこだわりのダシで炊き上げる釜飯が名物の人気店。メニューによってダシを変えているという釜飯は、常時20~30種類を提供。なかでも牡蠣やカニ、ウナギなど10種類以上の食材が入った『開運特上釜めし』は味も豪華さも格別。『釜めしドリア』も一食の価値あり。

data
新潟県西蒲原郡弥彦村
弥彦1127
tel.0256-94-2245
11:00~14:00 /
17:30~20:00
(釜めしLO19:00。月火木は
昼のみ営業)
水休
席数22
Pあり

YAHIKO VILLAGE Culture Tourism **50** わっぱ飯と割烹の吉田屋



鮭とイクラが風味豊かなわっぱ飯が絶品
弥彦の新名物「イカメンチ」もおすすめ

彌彦神社への参道沿いにある名物割烹。「わっぱ」に、地元産伊彌彦米と具材を入れて蒸した新潟の郷土料理「わっぱ飯」をはじめ、近隣の港で水揚げされた地魚を使った和食を気軽に定食で味わえる。弥彦名物の「イカメンチ」も提供しており、こちらをおつまみに新潟の地酒を味わいたい。

data
新潟県西蒲原郡弥彦村
弥彦941-2
tel.0256-94-2020
10:00~14:30 /
17:00~20:30
不定休
席数50
Pあり

YAHIKO VILLAGE Culture Tourism **51** 弥彦おみやげ処 西澤商店



数日かけて味を染み込ませた濃口醤油おでん
神社参拝後に味わいたい弥彦名物

彌彦神社門前町の一角にある土産店。広い店内には弥彦ならではの定番商品はもちろん、新潟の名産が所狭しと並ぶ。店頭で販売する味の染みたおでんも好評で、こんにゃくのほかに、玉子、大根、昆布、ちくわの全5種類を提供している。これら5種のおでん盛り合わせは観光客に大人気だ。

data
新潟県西蒲原郡弥彦村
弥彦2914
tel.0256-94-2510
9:00~17:00
不定休
席数30
Pあり

TAGAMI TOWN Culture Tourism **48** ごまどう湯っ多里館



高台から見下ろす穏やかな越後平野の景観
再入館できるから朝から晩まで満喫したい

越後平野を一望できる露天風呂が人気の護摩堂山麓の高台にある日帰り温泉施設。肌にやさしい泉質で、飲むこともできる温泉が特徴だ。1回の入館料で一日に何度でも再入館が可能なので、露天風呂から昼は穏やかな越後平野の景観を、夜は星を眺めての湯浴みを楽しみたい。

data
新潟県南蒲原郡田上町大字
田上丙3673-1
tel.0256-57-6301
10:00~21:00(受付は~
20:00)
第2火休(祝の場合は翌日)
入館料:大人700円、子供(3
歳~小学生)400円(17:00
以降は大人600円)
Pあり

YAHIKO VILLAGE Culture Tourism **49** 旧鈴木家住宅主屋 (ギャラリー喫茶余韻)



社家の歴史を今に伝える貴重な建物
江戸時代後期の建築様式やアートを鑑賞できる

鈴木権宮司邸は、1878年、明治天皇北陸御巡幸で弥彦御宿泊の時、右大臣・岩倉具視が宿泊した社家住宅。1916年の彌彦神社御造営に伴い、現在地に移築。欄間や襖絵、屏風など趣あるアート鑑賞を楽しめる。国登録有形文化財にもなっている。

data
新潟県西蒲原郡弥彦村
弥彦1193-2
tel.090-7275-9207
10:00~16:00
土日のみギャラリー喫茶余韻
として営業
Pなし

TAGAMI TOWN Culture Tourism **46** ホテル小柳



絶景を満喫できる壮大な露天風呂に
こだわりのサウナで心も体もリフレッシュ

280年の歴史がある湯田上温泉で創業110年を迎えた老舗旅館。越後平野を一望できる展望大浴場や、湯船に柵がないインフィニティスタイルの露天風呂での絶景を眺めながらの入浴に時間を忘れてしまおう。こだわりのサウナや旬の食材を使用した料理も心と体を癒やしてくれる。

data
新潟県南蒲原郡田上町大字
田上乙1322-1
tel.0256-57-5000
チェックイン15:00 /
チェックアウト10:00
Pあり

TAGAMI TOWN Culture Tourism **47** やさしい道の駅 たがみ



町内外の交流をつなげる次世代の道の駅
ショップや食堂も田上町の魅力を発信!

「やさしい道の駅」をコンセプトに、田上町の情報発信拠点とショップ、食堂、コンビニが一体となった施設。田上町内の「いいもの」を集めたショップや地域食材を使った食堂も評判だ。町内外の交流の場としての機能やユニバーサルデザインに注力した、出会いを楽しむ次世代型・道の駅。

data
新潟県南蒲原郡田上町大字
原ヶ崎新田3072-1
tel.0256-47-0661
ショップ9:30~17:00(12~
3月は10:00~16:00)、食堂
10:00~16:00(12~3月は
~15:30)
第2火休(ショップ・食堂)
Pあり

フルーツをそのまま
搾った生ジュース



SNS映え必至の
かわいいビジュアル



フルーツ
ショップ

やまいけだもてん

やまいし果物店

全国から吟味した完熟果物を販売する専門店。オレンジやグレープフルーツをそのまま器にした『カジュッタ生ジュース』は抜群のビジュアルもあって大人気。「空気に触れる時間が短いので酵素たっぷり、ビタミンもたっぷりでおいしいよ」と代表の石月さん。

data 新潟県新潟市秋葉区新津本町3-3-28
tel.0250-23-0397
9:00~18:00 不定休

新津駅



信越本線の途中
駅で磐越西線と
羽越本線の始発
の駅だよ



マンホールにもSLが!

新津駅前近くの道に
あるよ。探してみて!



鉄道モチーフを探して
まちなかを散策



鉄道のまち・新津を
歩こう

Niitsu Walk Map



駅前に大きなSLの車輪

D51形式816号機動輪。
新津駅のシンボルです

新潟市新津鉄道資料館→

商店街にもSLの車輪

C57形式149号第一
動輪。近くで見るとその
大きさにびっくり

昭和レトロな
駄菓子とおもちゃ



全部はしく
なっちゃう!



駄菓子屋さん

にいつだしのえき

にいつ駄菓子の駅

レトロな雰囲気店内にはカラフルでかわいい駄菓子がびっしり。そのラインナップを見れば、懐かしさに大人も歓喜すること必至。黒電話やちゃぶ台が置かれた茶の間、昭和の小学校そのままの木造の教室など、タイムスリップできるスペースもある。

data 新潟県新潟市秋葉区新津本町3-7-38
tel.0250-27-3151 11:00~17:00(土日は10:00~18:00) 毎月7、17、27日休み(土日は営業)

呉服屋さん

むらきごふくてん

むらき呉服店

伝統を今に伝える職人の技にこだわった着物や小物を販売するむらき呉服店。C57形蒸気機関車と200系新幹線が描かれた手ぬぐいやかわいい絵柄のてぬぐいたおるなど、オリジナル鉄道アイテムも販売。これらは新潟市新津鉄道資料館で買うこともできる。

data 新潟県新潟市秋葉区新津本町3-7-39
tel.0250-22-0098 9:30~19:00
毎月7・17・27日休み



伝統工芸の注染で作られてた手ぬぐい。カラフルなてぬぐいたおるは今治で製造



本物の車両の大きさに
圧倒されちゃう!

蒸気機関車の
運転席に入れるよ



子どもと楽しい

Railway Town
鉄道のまち・新津を歩く

信越本線・磐越西線・羽越本線の3路線が交差する新津駅。
まちを歩くと鉄道にちなんだスポットがいっぱい!



- 1 1200系新幹線は、東北新幹線、上越新幹線開業時に活躍。C57形蒸気機関車は昭和12年から製造された
- 2 新津の鉄道の歴史がわかるフロア
- 3 鉄道車両を走らせる仕組みを詳しく解説
- 4 電車運転シミュレータに挑戦! 実際の車窓が映し出されるよ。きちんとホームに停車できるかな?

Q 新津はなぜ「鉄道のまち」になったの?

A 四方に線路が伸びる重要な場所になったから。電車工場もあるんだよ



昭和初期の二代目新津駅



新津駅に停車する57-1号機

当初、新津は途中駅の1つだったが、ここから福島県や秋田県へ線路が延ばされると、鉄道の職場が多く置かれ、最盛期には「勤労者の4人に1人は鉄道関係者」と言われるほどになったんだ。

にいがたにいつつどうりょうかん

新潟市新津鉄道資料館

後世に鉄道文化を残したいという、地元市民らの声を受けて設立された資料館。旧新潟鉄道病院新津分室跡に設立され、その後旧新潟鉄道学園跡へ移転した。新津が鉄道の街として栄えた経緯がわかる資料や、昔の駅の看板、教習に使われた機器など貴重で楽しい展示物がいっぱい。屋外には、C57形蒸気機関車、200系新幹線、ロータリー式除雪用機関車など、新潟地区で実際に使用されていた車両を展示。

data 新潟県新潟市秋葉区新津東町2-5-6
tel.0250-24-5700 9:30~17:00 火曜定休
入館料:大人300円、高大学生200円、小中学生100円

イベントカレンダー

地域に古くから伝わるおまつりや神事、その町に根付いた楽しい催しなど
新潟・佐渡エリアで開催されるイベントを季節ごとにピックアップ。



- その他のイベント
- 9月下旬 【燕市】越後くみ山酒呑童子行列
問:燕市観光協会 tel.0256-64-7630
 - 9月下旬～10月下旬 【田上町】湯田上温泉 温泉まつり
問:田上町観光協会 tel.0256-57-6225
 - 11月5日～8日 【三条市】お取り越し
問:三条市経済部営業戦略室 tel.0256-34-5511
 - 11月中旬 【五泉市】五泉ニットフェス
問:五泉ニット工業協同組合 tel.0250-42-2156

- 11 里山アート展 10月上旬～下旬
自然がそのまま残されている山や川、田や畑などのオープンスペースに作品が展示され、自然とアートのコラボレーションを楽しめる。
data 会場:阿賀町豊実
問:里山アート展実行委員会(佐藤) tel.0254-96-2003
- 12 小京都を楽しむ会 AKARIBA 9月中旬
加茂紙を使った灯りや切り絵灯籠など、さまざまな灯りが並ぶ、北越の小京都・加茂を彩るあかりの祭典。関連イベントも多数開催。
data 会場:加茂市内各所
問:加茂市商工観光課 tel.0256-52-0080

- 9 にいがた総おどり 9月中旬
日本最大級のオールジャンルダンスフェスティバル。よさこい、民族舞踊、ジャズなど、ジャンルにとらわれない多彩な踊りを披露する。
data 会場:万代シティ、古町6・7番町 ほか
問:新潟総踊り祭実行委員会事務局 tel.025-383-6630
- 10 弥彦菊まつり 11月1日～24日
菊作り愛好家が一年間、丹精込めて育てた名作が多数出品される。3万本の挿芽小菊で作られた「大風景花壇」は見る者を魅了する。
data 会場:彌彦神社
問:弥彦観光協会 tel.0256-94-3154

- その他のイベント
- 3月中旬～4月中旬 【田上町】田上うめまつり
問:田上町観光協会 tel.0256-57-6225
 - 4月上旬～下旬 【五泉市】五泉市チューリップまつり
問:五泉市農林課 tel.0250-43-3911
 - 4月～5月上旬 【加茂市】雪椿まつり
問:加茂市商工観光課 tel.0256-52-0080
 - 5月上旬～下旬 【五泉市】五泉市花木まつり
問:五泉市農林課 tel.0250-43-3911
 - 5月中旬～下旬 【三条市】越後三条・高城ヒメサユリ祭り
問:三条市経済部営業戦略室 tel.0256-34-5511

- 3 弥彦湯かけまつり 4月上旬
弥彦温泉発祥の地、湯神社より御神湯をいただき彌彦神社に奉納する神事。神湯を湯曳き車にのせ、湯を人々に祓いかけながら歩く。
data 会場:弥彦駅～彌彦神社
問:弥彦観光協会 tel.0256-94-3154
- 4 つがわ狐の嫁入り行列 5月3日
阿賀町津川に伝わる狐火伝説をもとに、江戸時代の嫁入りを再現。狐メイクをした花嫁とお供の大行列が町中を練り歩く。
data 会場:阿賀町津川
問:つがわ狐の嫁入り行列実行委員会事務局 tel.0254-92-4766

- 1 つばめ桜まつり 分水おいらん道中 4月中旬
大河津分水の堤防沿いに約2,600本のソメイヨシノが咲き誇る。絢爛豪華な衣裳に身を包んだおいらん役が付き人を従えて歩く姿は必見。
data 会場:大河津分水桜並木
問:燕市観光協会 tel.0256-64-7630
- 2 山王祭(日吉神社例祭) 4月12日～14日
佐渡市新穂地区の上新穂、下新穂、新穂北方、新穂、馬場、三協の6集落が執り行い、山王七社の各神輿が新穂日吉神社に参集する祭礼。
data 会場:新穂日吉神社
問:佐渡観光交流機構 tel.0259-27-5000



- その他のイベント
- 12月上旬～1月下旬 【新潟市】NIIGATA光のページェント
問:NIIGATA光のページェント実行委員会 tel.025-282-7108
 - 12月31日～1月上旬 【弥彦村】彌彦神社 二年詣・初詣
問:彌彦神社 tel.0256-94-2001
 - 1月中旬～2月下旬 【燕市】越後つばめの天神講菓子展
問:燕市商工振興課 tel.0256-77-8231
 - 2月中旬 【五泉市】別所虚空蔵尊祭礼
問:五泉市商工観光課 tel.0250-43-3911

- 15 本成寺鬼踊り 2月3日
室町時代に本成寺の僧兵と農民が力を合わせて盗賊を追い払ったという故事にならい行われている行事。鬼たちが大暴れる姿は迫力満点。
data 会場:法華宗総本山 本成寺
問:三条市経済部営業戦略室 tel.0256-34-5511
- 16 にいがた 冬 食の陣・当日座 2月上旬
新潟県内外の「うんまいもん」が大集結する新潟の食の一大イベント。あったか鍋のほか、新潟県内のご当地グルメなどを堪能できる。
data 会場:新潟市中央区古町7番町モール、古町ルフル
問:にいがた食の陣実行委員会事務局 tel.025-286-9112

- 13 新潟ジャズストリート 1月中旬
新潟市内の喫茶店やカフェ、ホールなどを会場に、さまざまなバンドが一日中演奏を繰り広げる。7月中旬にも開催している。
data 会場:新潟市内各所
問:事務局(Jazz FLASH) tel.025-224-4518
- 14 献灯祭 1月14日～15日
三条商人の旅の安全などを祈願し、江戸時代から行われてきた三条の冬の風物詩。御神灯の数々が境内の中で灯る様子は厳かで神秘的だ。
data 会場:三条八幡宮
問:三条市経済部営業戦略室 tel.0256-34-5511

- その他のイベント
- 6月上旬 【三条市】三条風(いか)合戦
問:三条市経済部営業戦略室 tel.0256-34-5511
 - 6月中旬～7月中旬 【田上町】護摩堂山湯田上温泉あじさいまつり
問:田上町観光協会 tel.0256-57-6225
 - 6月30日、7月1日・2日 【新潟市】蒲原まつり
問:蒲原神社 tel.025-244-4541
 - 7月24日～26日 【弥彦村】弥彦燈籠まつり
問:弥彦観光協会 tel.0256-94-3154
 - 8月中旬 【佐渡市】アース・セレブレーション
問:アース・セレブレーション実行委員会 tel.0259-81-4100

- 7 七夕風鈴祭・天の川巡り 7月上旬～下旬
毎年七夕の季節に五泉城跡に鎮座する五泉八幡宮で行われる風鈴祭。日本全国の風鈴や世界の風鈴など、多種多様な風鈴が飾られる。
data 会場:五泉八幡宮
問:五泉八幡宮 tel.0250-42-3220
- 8 白根大風合戦 6月上旬
300年の歴史を持つ伝統行事。中ノ口川の両岸から豊24畳分の大風を揚げ、空中で絡ませ川に落とし、相手の風網が切れるまで引き合う。
data 会場:中ノ口川堤防風合戦会場
問:新潟市南区観光協会 tel.025-372-6505

- 5 新潟まつり 8月上旬
『新潟まつり』の起源となる住吉祭を中心に湊町全体を挙げて開催される祭り。大民謡流し、市民みこし行列、花火大会などが行われる。
data 会場:榎谷小路、萬代橋、白山神社 ほか
問:新潟まつり実行委員会(新潟市観光政策課内) tel.025-226-2608
- 6 小木港祭り 8月下旬
金銀の積み出し港だった佐渡の小木町で、航海の安全祈願のために始まったといわれている。芸能披露や花火大会などを実施する。
data 会場:佐渡市小木町市街地
問:小木港祭り実行委員会(小木町商工会内) tel.0259-86-2216



佐渡エリアMAP



(補正編) 新潟県 佐渡島



新潟市近郊エリアMAP



行形亭
旧齋藤家別邸
旧市長公舎 安吾 風の館
カトリック新潟教会
新潟記念館
新潟市マンガの家
ぶらっと本町
新潟市マンガ・アニメ情報館

古町柳都カフェ
旧小澤家住宅
湊稲荷神社
水戸教公園
旧新潟税関庁舎
新潟市歴史博物館
みなどびあ
金刀比羅神社
沼垂テラス
商店街
発酵の町 沼垂ビール
今代司酒造
峰村商店
ANAクラウンプラザホテル新潟

- ・旧鈴木家住宅主屋(ギャラリー喫茶余韻)
- ・わっぱ飯と割烹の吉田屋
- ・弥彦おみやげ処 西澤商店
- ・パンダ焼き(分水堂菓子舗)
- ・釜めし弥彦
- ・弥彦公園
- ・弥彦銘菓 玉兎 糸屋

- ・加茂山公園
- ・青海神社
- ・G.F.G.S.
- ・Yama Cafe
- ・加茂紙漉場
- ・加茂市定期露店市場

- ・狐の嫁入り屋敷
- ・オニグルミ(パンとおやつ奥阿賀コンビリー)
- ・絵かきの宿 福泉
- ・身欠きにしんの糺漬(山崎糺屋)

- ・御神楽温泉
- ・ブナの森に囲まれた一軒宿 小会瀬

たきがしら湿原



INFORMATION

NIIGATA Culture Tourism
スペシャルサイト

<https://n-story.jp/nct/niigatasado/>



新潟県の文化情報

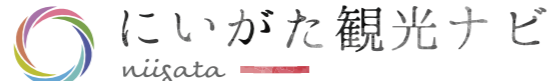
新潟の地域文化を紡ぎ繋げる



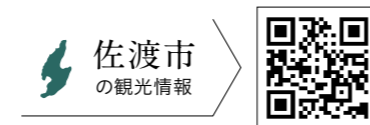
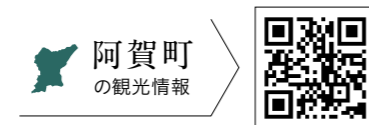
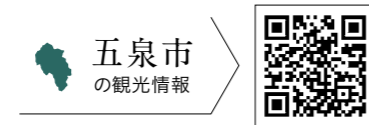
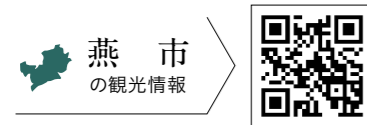
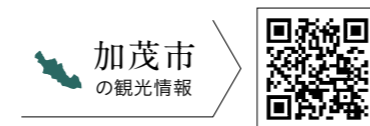
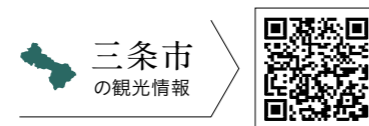
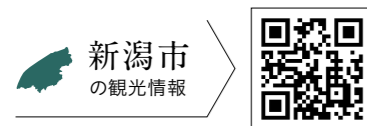
<https://n-story.jp/>



新潟県の観光情報



<https://niigata-kankou.or.jp/>



NIIGATA Culture Tourism

新潟・佐渡エリア

2023.1.10 発行

協力

新潟市、三条市、加茂市、燕市、五泉市、弥彦村、田上町、阿賀町、佐渡市
公益社団法人 新潟県観光協会
一般財団法人 佐渡文化財団
一般社団法人 佐渡観光交流機構

編集 株式会社ジョイフルタウン

印刷 株式会社第一印刷所

発行元 新潟県 観光文化スポーツ部 文化課
〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4-1
tel.025-280-5139



NIIGATA Culture Tourism

MODEL COURSE

新潟・佐渡エリアの文化を体感できる旅のモデルコース

本誌を読んで「次の旅は新潟」と決めてくれたあなたには、
旅のイメージをさらに膨らませて、お好みの行程を考えてほしい。
そんな思いを込め、2泊3日のモデルコースをスペシャルサイトでご紹介。



MODEL COURSE 1 方言に親しむ旅へ



新潟の音を探しに
昔ながらの新潟言葉に触れよう

新潟の方言を感じる旅。阿賀町・狐の嫁入り屋敷では地元の方の指導で狐のお面の絵付け。三条市・三条鍛冶道場では職人さんの指導による鍛冶体験。新潟市の市場では飛び交う地元の人の言葉を耳にできる。

[コース詳細はこちら](#)



MODEL COURSE 2 郷土料理に満たされる旅へ

新潟ローカルガストロミー 海の幸・山の幸

海、山ともに季節ごとに多彩な食材が手に入る新潟。新潟市では自慢のお米と地魚で握る鮓。阿賀町では靴文化に触れ、五泉市では名物鯉料理を堪能。郷土の「食」を目的にその背景を知る旅はおいしくて興味深い。



[コース詳細はこちら](#)



MODEL COURSE 3 伝統芸能に触れる旅へ



たっぷり佐渡・新潟の
伝統と芸能

世界文化遺産への登録に向け、注目が集まる佐渡をメインに、絶えることなく伝えられてきた鬼太鼓、薪能など佐渡の芸能と、たらい舟を体験。新潟市では芸妓文化に触れ、旅の終わりに越後一宮彌彦神社を参拝しよう。

[コース詳細はこちら](#)



